

# 平成30年度の基礎調査等 の結果について(概要)

令和元年5月16日

船橋市

<b>1 基礎調査</b> .....	<b>2</b>
<b>2 将来人口推計</b> .....	<b>30</b>
<b>3 調査・推計の結果を踏まえた 重要課題</b> .....	<b>37</b>
<b>4 市民意識等の把握</b> .....	<b>39</b>
(1) 市民アンケート調査 .....	40
(2) 中学生アンケート調査 .....	52
(3) 24地区市民会議 .....	59
(4) 市民会議inふなばし若手経済ミーティング	62
(5) こども未来会議室 Season2 .....	64

# 1 基礎調査

(1) 調査の概要

(2) 結果の概要

## (1) 調査の概要

- ◆ はじめに、今後の全市的なまちづくりのあり方を検討する上で念頭に置くべき社会経済動向を整理し、これらの動向が本市のまちづくりに及ぼす影響を明らかにしました。
- ◆ 併せて、人口、産業、都市基盤など、今後のまちづくりのあり方を検討する上で密接な関わりを持つ事項について、他自治体との相対比較を通じて、本市の強み・弱みや相対的に見た立ち位置等の特徴を明らかにしました。
- ◆ さらに、市内を10地域に区分した上、GIS(地理情報システム)を用いて、人口分布や産業集積など、地域間でどのような差異があるのかを、視覚的にも分かりやすく洗い出しました。

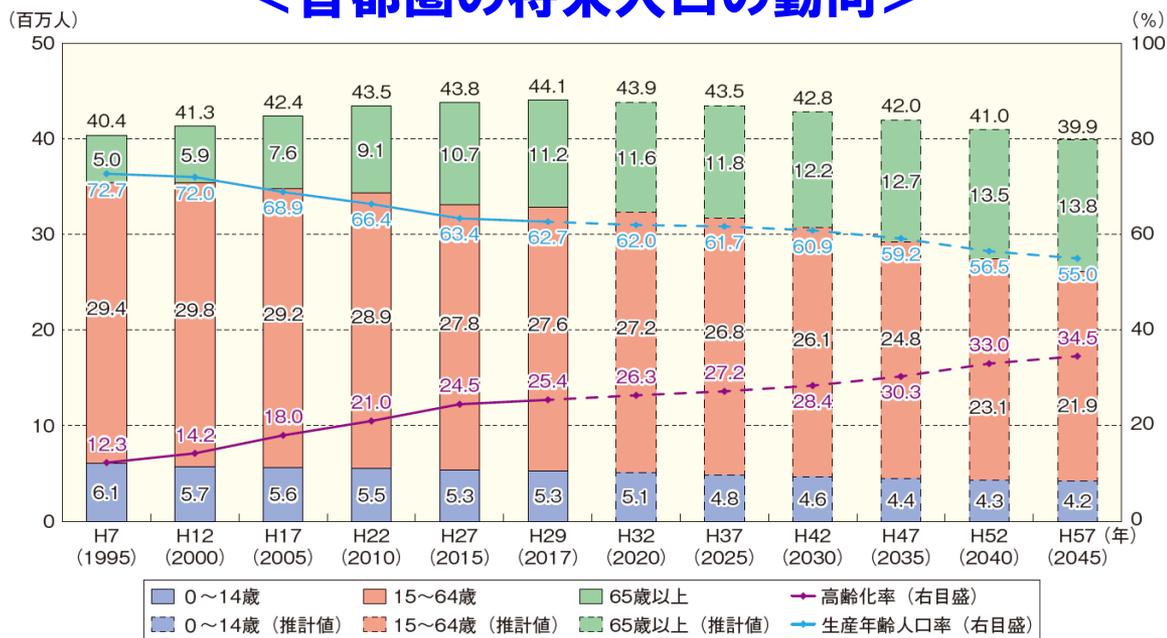
## (2) 結果の概要

### 1) 社会経済動向の整理・分析

#### ①本格的な人口減少・超高齢社会の到来

- ◆ 今後、首都圏の人口は本格的な減少局面に突入し、減少幅は年を経るにつれ拡大するとともに、生産年齢人口(15～64歳)が減少し、老年人口(65歳以上)が大きく増加すると予測されています。

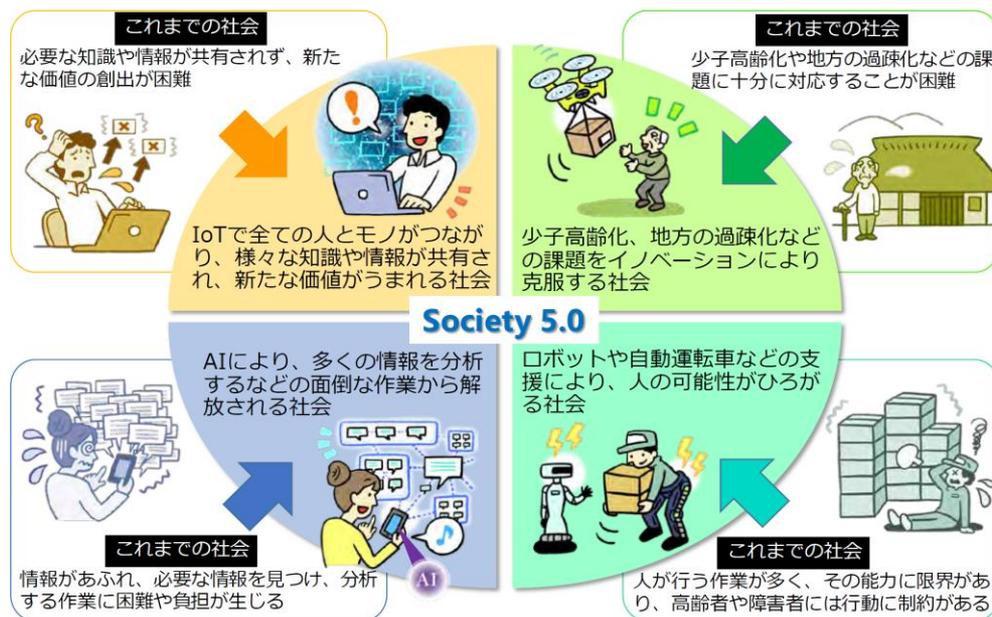
#### <首都圏の将来人口の動向>



## ②第4次産業革命の技術革新を活かした「超スマート社会」の到来

- ◆ AI(人工知能)やIoT(モノのインターネット)に代表される第4次産業革命の進展により、あらゆる人が、年齢や地域などの様々な違いを乗り越え、生き生きと快適に暮らせる「Society5.0(超スマート社会)」の実現が期待されています。

### <Society5.0で実現が期待される社会>



### ③道路網の拡充に伴う人・モノ・お金の移動の活発化

- ◆ 今後、東京外かく環状道路や北千葉道路の整備進展に伴い、本市の広域的な交通利便性がさらに高まることが期待されます。

<東京外かく環状道路の計画図>



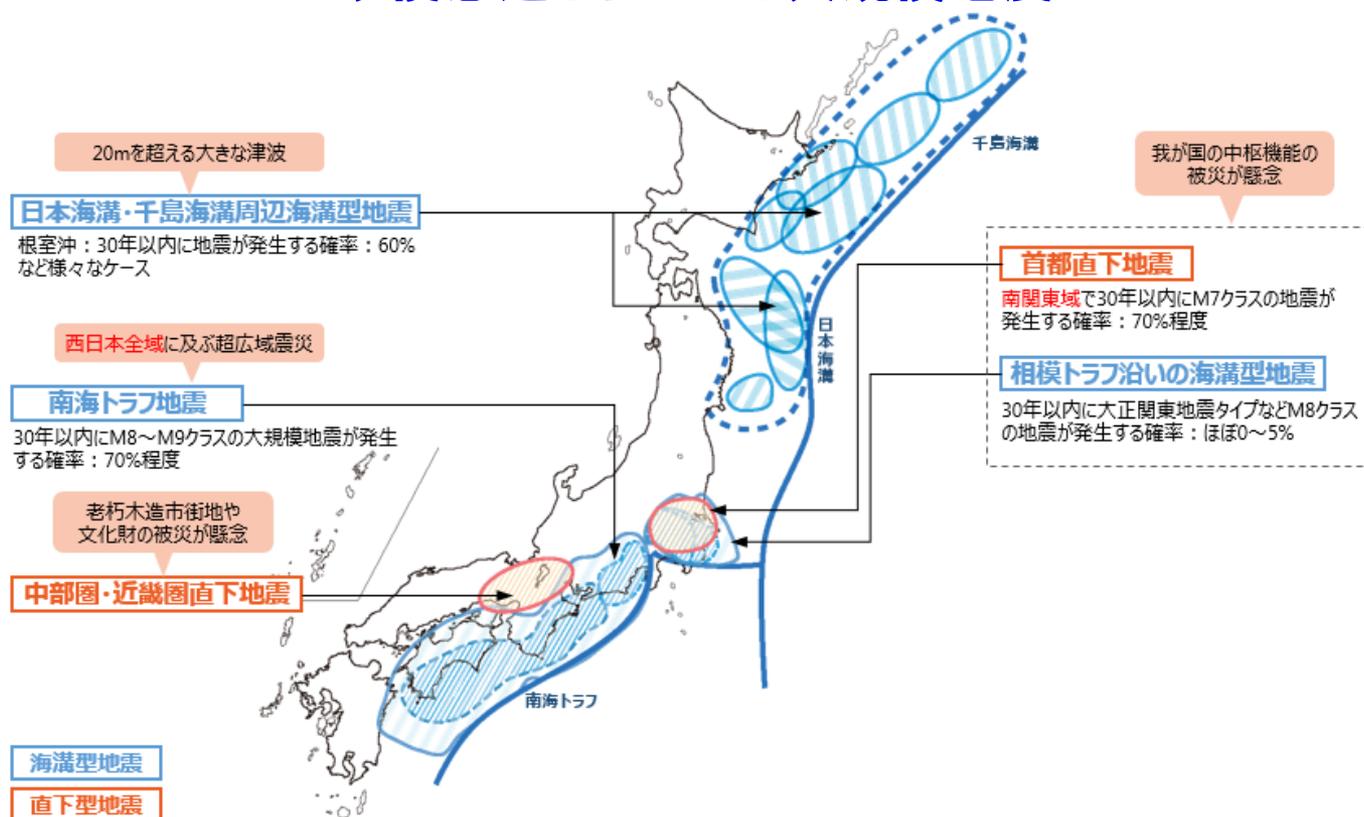
<北千葉道路の概要図>



## ④切迫性が高まる首都直下地震への備えの強化

- ◆ 首都中枢機能への影響が懸念される首都直下地震は、今後30年以内に発生する確率が70%と予測されており、自助・共助に根ざした防災対策をより一層促進する重要性が高まっています。

### <今後想定されている大規模地震>

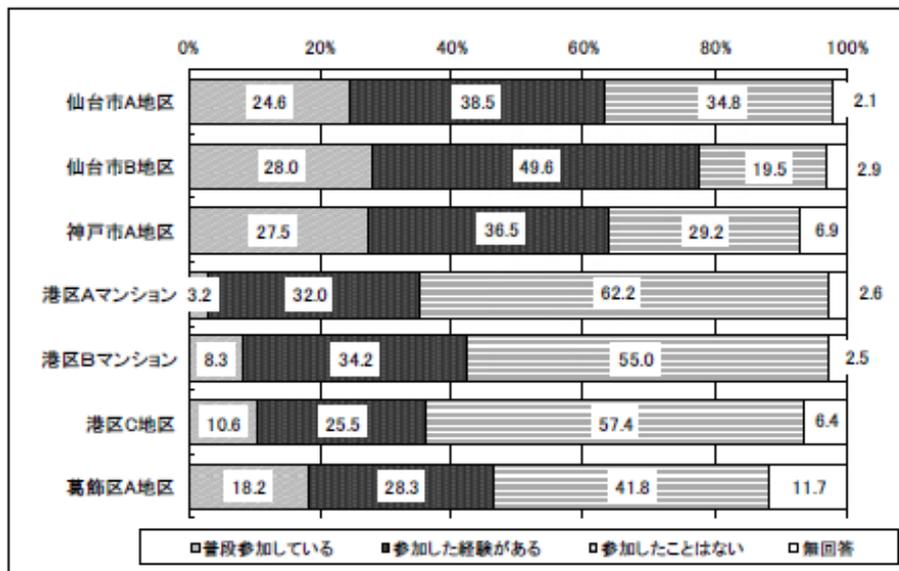


## ⑤ 今後さらに重要性が高まると見込まれる地域コミュニティの役割

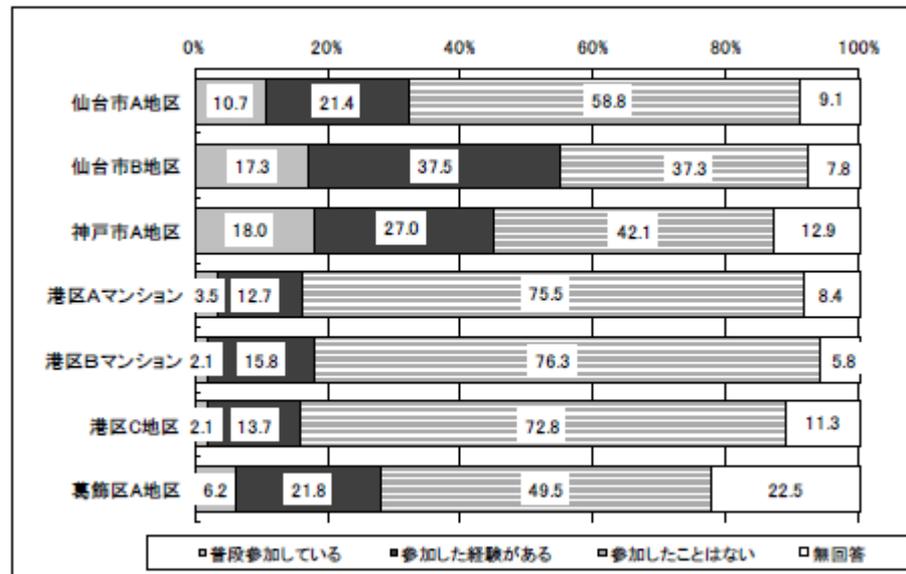
- ◆ 社会経済情勢の変化に伴い、今後さらに個人や地域社会が抱える課題が多様化・複雑化していくと見込まれる中、地域コミュニティが果たす役割の重要性は、従来にも増して高まっていくと見込まれます。

### <地域活動等の参加状況>

#### 自治会・町内会



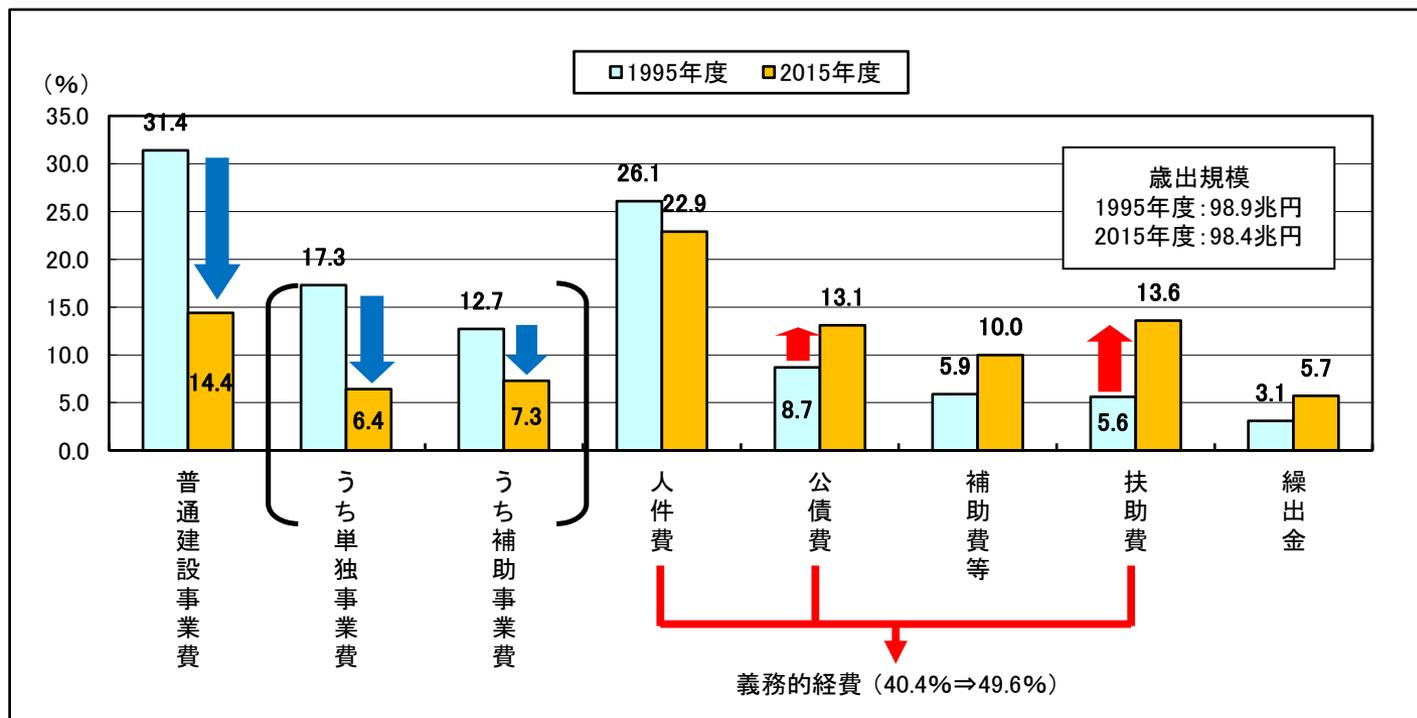
#### 婦人会、老人会、子ども会、PTA 等



## ⑥ 今後さらに深刻さを増すと見込まれる財政構造の硬直化

- ◆ 近年、地方自治体の歳出は、普通建設事業費が減少する一方、人件費・扶助費・公債費からなる義務的経費が増加傾向にあり、全国的に財政構造の硬直化が深刻さを増しています。

### <地方全体の歳出構造の変化>



## 2) 本市の現状分析

- ◆ 各種統計指標を活用した他自治体との相対比較によって、本市の強み・弱みや立ち位置等を客観的に明らかにするよう努めました。
- ◆ 相対比較の対象は、単に人口規模や産業構造が類似した自治体を抽出するのではなく、定住人口の維持・確保を図る上で競合関係にある近隣9市区、首都圏の中核5市の計14都市としています。

### <比較対象自治体>

- 定住人口の維持・確保を図る上で競合関係にある近隣9市区  
(平成29年度実績で本市からの転出が多かった自治体)

千葉市、市川市、習志野市、八千代市、松戸市、江戸川区、鎌ヶ谷市、柏市、江東区

(※転出者数の多い順)

- 首都圏の中核5市

川口市、川越市、越谷市、八王子市、横須賀市

	【全市】			
	転入		転出	
	転入前 住所地	人数(人)	転出先 住所地	人数(人)
第1位	市川市	2,312	千葉市	1,907
第2位	千葉市	2,143	市川市	1,717
第3位	習志野市	1,289	習志野市	1,095
第4位	江戸川区	961	八千代市	1,078
第5位	八千代市	736	横浜市	758
第6位	横浜市	711	松戸市	735
第7位	松戸市	620	江戸川区	720
第8位	鎌ヶ谷市	586	鎌ヶ谷市	696
第9位	川崎市	482	柏市	511
第10位	江東区	450	江東区	497
総数(全市区町村)		28,575		25,762

# ①人口・世帯数

## ①-1 総人口

- ◆ 平成29年の人口は、15都市（本市を含む）の中では、千葉市、江戸川区に次ぐ3番目の規模です。
- ◆ 平成19年の人口を100とした場合の平成29年の指数は15都市中4番目に位置し、堅調な人口増加が続いています。

### <住民基本台帳人口の比率>

		19/29年比(%)	19/24年比(%)	24/29年比(%)
船橋市		108.0	103.2	104.6
比較対象都市平均		107.1	102.8	104.2
平成29年度 転出上位自治体	千葉市	105.2	102.1	103.0
	市川市	105.1	100.2	104.8
	習志野市	108.8	102.0	106.7
	八千代市	106.0	102.3	103.6
	松戸市	103.9	100.7	103.2
	江戸川区	106.7	100.9	105.8
	鎌ヶ谷市	103.9	103.3	100.6
	柏市	107.0	102.7	104.1
	江東区	117.2	105.7	110.9
首都圏の中核市	川口市	121.8	114.1	106.8
	川越市	106.4	103.1	103.3
	越谷市	107.2	102.6	104.4
	八王子市	103.6	101.9	101.7
	横須賀市	96.5	98.6	97.9

## ①-2 年齢3区分別人口

- ◆ 平成17年の15歳未満人口を100とした場合の平成27年の指数は108.6で、**3番目の高水準**です。
- ◆ 地域の経済社会を支える中心的な世代である**15～64歳人口は、平成22年を境に減少傾向**にある一方、**65歳以上人口は平成17～27年で約1.5倍**となっています。

### <年齢3区分別人口の比率>

	17/27年比(%)			17/22年比(%)			22/27年比(%)			
	15歳未満	15歳～64歳	65歳以上	15歳未満	15歳～64歳	65歳以上	15歳未満	15歳～64歳	65歳以上	
船橋市	108.6	98.8	152.3	108.8	102.0	127.0	99.9	96.9	119.9	
比較対象都市平均	98.1	95.1	154.9	100.0	97.8	127.6	97.9	97.1	121.3	
平成29年度 転出上位自治体	千葉市	95.7	93.4	156.5	97.2	94.8	130.6	98.5	98.5	119.8
	市川市	82.3	85.5	159.3	89.7	93.1	131.3	91.7	91.8	121.3
	習志野市	100.3	96.6	150.3	102.0	98.9	126.4	98.4	97.7	119.0
	八千代市	97.9	96.5	159.2	104.1	99.2	130.6	94.1	97.3	121.9
	松戸市	87.0	90.2	158.1	91.5	94.4	130.7	95.1	95.6	120.9
	江戸川区	95.6	97.0	138.3	100.6	99.4	121.0	95.1	97.6	114.3
	鎌ヶ谷市	98.5	92.1	164.6	101.9	97.7	134.0	96.7	94.2	122.8
	柏市	103.1	95.6	159.0	106.6	100.2	128.4	96.7	95.4	123.8
江東区	129.4	109.2	144.4	115.3	105.8	121.1	112.2	103.3	119.3	
首都圏の中核市	川口市	110.3	109.6	173.0	99.6	100.2	126.6	110.8	109.4	136.7
	川越市	97.8	94.1	156.2	98.4	97.6	128.2	99.4	96.4	121.8
	越谷市	97.8	95.4	168.9	99.0	97.4	135.7	98.8	98.0	124.5
	八王子市	93.4	91.3	146.5	100.6	98.5	124.1	92.8	92.7	118.0
	横須賀市	84.5	84.5	134.9	93.8	92.7	118.2	90.1	91.2	114.1

## ①-3 人口動態

- ◆ 自然動態(出生者数－死亡者数)は、平成24～29年でマイナス1,209人、高齢化の進展に伴い、今後さらにマイナス傾向は拡大の見込みです。
- ◆ 社会動態(転入者数－転出者数)は、平成24～29年でプラス1,675人に上り、堅調な人口増加は転入者に支えられています。

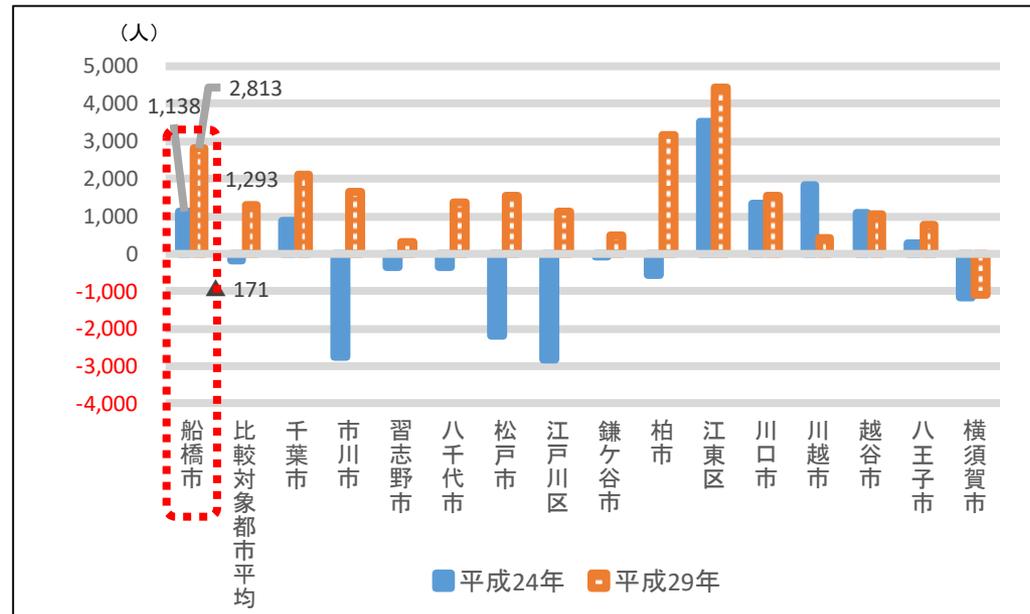
### <自然動態の推移>

単位:人

	平成24年			平成29年			平成24年→29年 増減数	
	自然増減計		自然増減計					
	出生者数	死亡者数	出生者数	死亡者数				
船橋市	1,085	5,559	4,474	▲ 124	4,857	4,981	▲ 1,209	
比較対象都市平均	178	3,641	3,464	▲ 526	3,347	3,873	▲ 704	
平成29年度 転出上位自治体	千葉市	304	7,707	7,403	▲ 1,988	6,654	8,642	▲ 2,292
	市川市	1,115	4,316	3,201	577	4,083	3,506	▲ 538
	習志野市	222	1,403	1,181	185	1,485	1,300	▲ 37
	八千代市	225	1,628	1,403	▲ 146	1,426	1,572	▲ 371
	松戸市	191	3,829	3,638	▲ 856	3,502	4,358	▲ 1,047
	江戸川区	919	6,069	5,150	22	5,646	5,624	▲ 897
	鎌ヶ谷市	77	942	865	▲ 217	749	966	▲ 294
	柏市	312	3,291	2,979	▲ 267	3,169	3,436	▲ 579
	江東区	580	4,319	3,739	407	4,517	4,110	▲ 173
首都圏の中核市	川口市	436	4,950	4,514	▲ 545	4,482	5,027	▲ 981
	川越市	▲ 72	2,877	2,949	▲ 374	2,640	3,014	▲ 302
	越谷市	339	2,776	2,437	50	2,708	2,658	▲ 289
	八王子市	▲ 583	4,022	4,605	▲ 1,926	3,377	5,303	▲ 1,343
	横須賀市	▲ 1,577	2,850	4,427	▲ 2,284	2,418	4,702	▲ 707

## ＜社会動態の推移＞

	平成24年			平成29年			平成24年→29年 増減数	
	社会増減計			社会増減計				
	転入者数	転出者数		転入者数	転出者数			
船橋市	1,138	27,751	26,613	2,813	28,575	25,762	1,675	
比較対象都市平均	▲ 171	19,139	19,234	1,293	19,917	18,566	1,464	
平成29年度 転出上位自治体	千葉市	889	46,475	45,586	2,108	46,228	44,120	1,219
	市川市	▲ 2,750	24,792	27,542	1,670	26,796	25,126	4,420
	習志野市	▲ 351	7,900	8,251	325	8,645	8,320	676
	八千代市	▲ 341	7,775	8,116	1,357	8,762	7,405	1,698
	松戸市	▲ 2,190	18,754	20,944	1,562	20,181	18,619	3,752
	江戸川区	▲ 2,811	29,592	32,403	1,138	32,270	31,132	3,949
	鎌ヶ谷市	▲ 76	4,652	4,728	478	4,782	4,304	554
	柏市	▲ 574	16,412	16,986	3,153	18,326	15,173	3,727
首都圏の中核市	江東区	3,510	28,344	24,834	4,447	30,523	26,076	937
	川口市	1,320	22,756	21,436	1,551	22,935	21,384	231
	川越市	1,825	13,391	11,566	416	12,051	11,635	▲ 1,409
	越谷市	1,105	12,091	10,986	1,070	12,644	11,574	▲ 35
	八王子市	289	21,776	21,487	759	21,426	20,667	470
	横須賀市	▲ 1,173	13,237	14,410	▲ 1,112	13,273	14,385	61



## ①-4 外国人人口

- ◆ 平成27年の外国人人口は11,074人であり、平成22年の7,670人と比べて約1.4倍に増加しています。増加率は比較対象15市の中で、川口市、横須賀市、習志野市に次いで4番目の高さとなっています。

### <外国人人口>

	平成22年(人)	平成27年(人)	22/27年比(%)	
船橋市	7,670	11,074	144.4	
比較対象都市平均	7,678	9,371	122.1	
平成29年度 転出上位自治体	千葉市	14,394	114.7	
	市川市	7,299	88.8	
	習志野市	1,735	2,542	146.5
	八千代市	2,935	3,571	121.7
	松戸市	7,657	9,063	118.4
	江戸川区	21,597	23,997	111.1
	鎌ヶ谷市	811	997	122.9
	柏市	4,717	5,153	109.2
	江東区	16,710	21,373	127.9
首都圏の中核市	川口市	13,549	20,527	151.5
	川越市	3,162	4,375	138.4
	越谷市	3,449	4,152	120.4
	八王子市	6,680	8,369	125.3
	横須賀市	2,790	4,088	146.5

## ①-5 高齢世帯数

- ◆ 平成17年の高齢夫婦世帯数を100とした場合の平成27年の指数は150.1、同じく高齢単身世帯数を100とした場合の指数は179.6に大きく増加しています。

### <高齢夫婦・高齢単身世帯数の比率>

	高齢夫婦世帯数			高齢単身世帯数		
	17/27年比(%)	17/22年比(%)	22/27年比(%)	17/27年比(%)	17/22年比(%)	22/27年比(%)
船橋市	150.1	127.1	118.1	179.6	139.3	128.9
比較対象都市平均	151.6	128.0	118.4	184.6	138.8	132.9
平成29年度 転出上位 自治体	千葉市	150.0	130.4	115.0	186.6	140.7
	市川市	161.8	142.1	113.9	204.2	139.7
	習志野市	143.9	122.6	117.4	181.8	141.1
	八千代市	156.4	131.8	118.7	200.4	142.6
	松戸市	151.8	132.6	114.5	200.9	138.6
	江戸川区	132.9	116.9	113.7	172.2	138.5
	鎌ヶ谷市	168.4	139.2	121.0	203.6	146.7
	柏市	164.6	129.3	127.3	188.0	143.2
	江東区	139.6	119.2	117.1	178.4	133.0
首都圏の 中核市	川口市	168.0	124.9	134.5	189.4	132.0
	川越市	167.3	135.4	123.6	195.1	148.3
	越谷市	167.8	138.0	121.6	215.4	154.7
	八王子市	151.5	127.3	119.1	170.1	143.0
	横須賀市	133.0	118.7	112.1	156.6	127.2

## ②産業

### ②-1 就業構造

- ◆ 平成27年の産業別就業者数の構成比は、第一次産業が0.8% (2,388人)、第二次産業が17.0% (48,753人)、第三次産業が75.6% (216,249人)であり、第三次産業の構成比は、比較対象15都市中、高い方から4番目と就業構造のサービス化が顕著となっています。
- ◆ 平成17年と比べると、第一次産業は3,150人から約24% (762人)減、第二次産業は52,689人から約7% (3,936人)減、第三次産業は214,168人から約1% (2,081人)増となっています。

## ＜産業別就業者数・総就業者に占める割合＞

単位：人

		平成17年			平成22年			平成27年		
		第一次産業	第二次産業	第三次産業	第一次産業	第二次産業	第三次産業	第一次産業	第二次産業	第三次産業
船橋市		3,150	52,689	214,168	2,549	47,142	213,119	2,388	48,753	216,249
比較対象都市平均		1,759	44,149	151,158	1,425	37,035	145,549	1,441	37,746	147,503
平成29年度 転出上位自治体	千葉市	3,600	82,697	329,735	2,984	72,402	324,902	2,964	76,076	324,932
	市川市	1,550	44,943	179,830	1,243	35,824	166,583	1,259	36,404	165,420
	習志野市	451	14,508	60,718	312	12,557	58,581	306	13,664	60,769
	八千代市	1,449	18,994	63,721	1,046	16,585	63,128	1,046	16,636	63,011
	松戸市	2,100	47,932	173,222	1,722	39,568	168,695	1,699	39,345	165,991
	江戸川区	819	66,687	232,698	640	54,095	208,225	691	54,245	213,500
	鎌ヶ谷市	1,036	12,138	35,487	905	10,190	36,515	827	9,884	36,927
	柏市	2,972	37,377	136,873	2,296	32,243	139,571	2,221	33,241	141,545
首都圏の 中核都市	江東区	85	41,498	172,231	130	34,576	174,560	160	34,048	167,231
	川口市	2,024	68,400	167,586	1,611	59,032	167,947	1,824	65,209	191,085
	川越市	3,375	43,628	111,160	2,670	36,974	106,000	2,728	37,119	109,539
	越谷市	1,303	38,251	111,909	1,169	32,822	107,733	1,187	33,985	111,193
	八王子市	1,807	58,344	189,275	1,557	49,126	177,219	1,576	48,616	179,322
	横須賀市	2,054	42,687	151,762	1,670	32,490	138,023	1,692	29,976	134,574

		総就業者に占める割合(%)								
		第一次産業			第二次産業			第三次産業		
		平成17年	平成22年	平成27年	平成17年	平成22年	平成27年	平成17年	平成22年	平成27年
船橋市		1.1	0.9	0.8	19.0	16.6	17.0	77.4	75.2	75.6
比較対象都市平均		0.9	0.7	0.7	21.7	18.3	18.8	74.2	72.1	73.5
平成29年度 転出上位自治体	千葉市	0.8	0.7	0.7	19.2	16.8	17.7	76.4	75.4	75.5
	市川市	0.7	0.6	0.6	19.2	16.0	16.8	76.7	74.6	76.2
	習志野市	0.6	0.4	0.4	18.8	15.9	17.4	78.6	74.1	77.5
	八千代市	1.7	1.2	1.2	22.1	19.3	19.4	74.3	73.5	73.4
	松戸市	0.9	0.8	0.8	20.6	17.5	17.7	74.5	74.6	74.6
	江戸川区	0.3	0.2	0.2	21.4	17.7	17.9	74.7	68.2	70.4
	鎌ヶ谷市	2.1	1.8	1.7	24.3	20.5	19.7	71.1	73.4	73.7
	柏市	1.6	1.2	1.2	20.4	17.1	17.6	74.8	74.0	74.9
首都圏の 中核都市	江東区	0.0	0.1	0.1	18.8	14.8	14.9	78.1	74.5	73.1
	川口市	0.8	0.6	0.6	27.8	23.5	22.8	68.2	66.7	66.9
	川越市	2.1	1.7	1.7	26.5	22.9	22.6	67.5	65.5	66.6
	越谷市	0.8	0.7	0.7	24.3	20.9	21.2	71.2	68.4	69.4
	八王子市	0.7	0.6	0.6	22.6	19.3	19.6	73.4	69.8	72.3
	横須賀市	1.0	0.9	1.0	21.4	18.2	17.2	76.1	77.2	77.3

## ②-2 サービス業に関する事業所数・構成比

- ◆ 平成26年のサービス業に関連する事業所数では、「宿泊業、飲食サービス業」が2,281事業所(構成比13.8%)で最も多く、「医療・福祉」が1,600事業所(9.7%)でこれに次いでおり、構成比は比較対象15都市中、いずれも高い方から4番目となっています。
- ◆ 平成21年と比べると、「宿泊業、飲食サービス業」は2,396事業所から約5%(115事業所)減少しているのに対し、「医療・福祉」は1,324事業所から約21%(276事業所)増加しています。

# ＜サービス業等(大区分別産業)に関する事業所数＞

		平成26年													
		情報通信業		運輸業・郵便業		金融・保険業		不動産業・物品賃貸業		宿泊業・飲食サービス業		教育・学習支援業		医療・福祉	
		事業所数(件)	構成比(%)	事業所数(件)	構成比(%)	事業所数(件)	構成比(%)	事業所数(件)	構成比(%)	事業所数(件)	構成比(%)	事業所数(件)	構成比(%)	事業所数(件)	構成比(%)
船橋市		168	1.0	459	2.8	269	1.6	1,329	8.0	2,281	13.8	761	4.6	1,600	9.7
比較対象都市平均		153	1.1	456	3.2	205	1.4	1,123	7.8	1,801	12.5	610	4.2	1,254	8.7
平成29年度 転出上位自治体	千葉市	378	1.2	813	2.7	628	2.0	2,402	7.8	3,681	12.0	1,391	4.5	2,833	9.2
	市川市	97	0.8	379	3.0	160	1.3	1,432	11.3	1,742	13.7	618	4.9	1,231	9.7
	習志野市	44	1.0	133	3.1	56	1.3	441	10.3	565	13.2	245	5.7	437	10.2
	八千代市	40	0.7	128	2.4	71	1.3	336	6.2	765	14.1	344	6.3	563	10.4
	松戸市	135	1.0	210	1.5	192	1.4	1,181	8.7	1,876	13.8	694	5.1	1,354	10.0
	江戸川区	141	0.6	1,335	6.1	239	1.1	1,749	8.0	2,575	11.8	651	3.0	1,808	8.3
	鎌ヶ谷市	25	0.8	68	2.2	31	1.0	258	8.2	343	10.9	159	5.1	295	9.4
	柏市	143	1.2	285	2.3	202	1.6	893	7.2	1,545	12.5	653	5.3	1,129	9.1
	江東区	440	2.3	1,211	6.3	253	1.3	1,308	6.8	2,413	12.6	444	2.3	1,320	6.9
首都圏の中核市	川口市	144	0.6	602	2.7	234	1.0	1,770	7.9	2,417	10.8	746	3.3	1,544	6.9
	川越市	88	0.8	268	2.4	174	1.5	638	5.6	1,297	11.5	538	4.8	966	8.5
	越谷市	77	0.7	327	2.8	176	1.5	690	6.0	1,470	12.7	520	4.5	902	7.8
	八王子市	280	1.5	396	2.1	242	1.3	1,514	7.9	2,436	12.6	895	4.6	1,837	9.5
	横須賀市	105	0.8	229	1.7	205	1.5	1,109	8.1	2,085	15.3	638	4.7	1,338	9.8

		平成21年													
		情報通信業		運輸業・郵便業		金融・保険業		不動産業・物品賃貸業		飲食店・宿泊業		教育・学習支援業		医療・福祉	
		事業所数(件)	構成比(%)	事業所数(件)	構成比(%)	事業所数(件)	構成比(%)	事業所数(件)	構成比(%)	事業所数(件)	構成比(%)	事業所数(件)	構成比(%)	事業所数(件)	構成比(%)
船橋市		192	1.1	512	3.0	273	1.6	1,319	7.8	2,396	14.1	752	4.4	1,324	7.8
比較対象都市平均		168	1.1	503	3.4	210	1.4	1,143	7.7	1,917	12.9	585	3.9	1,015	6.8
平成29年度 転出上位自治体	千葉市	402	1.3	855	2.8	604	2.0	2,462	8.0	3,842	12.5	1,333	4.3	2,150	7.0
	市川市	127	1.0	363	2.7	149	1.1	1,491	11.2	1,871	14.1	622	4.7	1,063	8.0
	習志野市	59	1.3	135	3.1	51	1.2	473	10.8	600	13.7	241	5.5	369	8.4
	八千代市	47	0.9	141	2.6	72	1.3	322	5.8	795	14.4	323	5.9	463	8.4
	松戸市	125	0.9	249	1.7	207	1.4	1,206	8.4	2,065	14.4	669	4.7	1,089	7.6
	江戸川区	155	0.7	1,727	7.3	255	1.1	1,702	7.2	2,832	12.0	610	2.6	1,445	6.1
	鎌ヶ谷市	23	0.7	68	2.2	27	0.9	277	8.8	340	10.8	156	5.0	217	6.9
	柏市	157	1.3	295	2.4	202	1.6	906	7.3	1,604	12.9	603	4.8	914	7.3
	江東区	478	2.4	1,325	6.5	251	1.2	1,241	6.1	2,564	12.6	402	2.0	1,156	5.7
首都圏の中核市	川口市	160	0.7	612	2.8	241	1.1	1,710	7.8	2,492	11.3	699	3.2	1,138	5.2
	川越市	94	0.8	259	2.2	181	1.6	680	5.8	1,382	11.9	508	4.4	815	7.0
	越谷市	96	0.8	321	2.6	194	1.6	746	6.2	1,543	12.7	526	4.3	734	6.1
	八王子市	305	1.5	417	2.1	262	1.3	1,538	7.8	2,564	12.9	876	4.4	1,538	7.8
	横須賀市	128	0.9	274	1.8	242	1.6	1,244	8.3	2,341	15.7	622	4.2	1,116	7.5

## ③ 都市基盤

### ③-1 道路

- ◆ 平成20年の基準道路長密度を100とした場合の平成28年度の指数は103.8で、比較対象15都市の中では、**4番目の高水準**となっています。

#### <基準道路長密度(1/2)>

	平成28年			平成24年			
	実延長(m)	都市面積(ha)	基準道路長密度(m/ha)	実延長(m)	都市面積(ha)	基準道路長密度(m/ha)	
船橋市	1,134,382	8,562	132.5	1,113,318	8,564	130.0	
比較対象都市平均	1,084,797	8,624	125.8	1,075,786	8,624	124.7	
平成29年度 転出上位自治体	千葉市	3,195,015	27,177	117.6	3,158,160	27,208	116.1
	市川市	727,774	5,745	126.7	727,774	5,740	126.8
	習志野市	286,905	2,097	136.8	278,629	2,099	132.7
	八千代市	548,311	5,139	106.7	536,884	5,127	104.7
	松戸市	1,115,846	6,138	181.8	1,102,040	6,133	179.7
	江戸川区	932,299	4,990	186.8	929,878	4,986	186.5
	鎌ヶ谷市	239,649	2,108	113.7	234,742	2,111	111.2
	柏市	1,390,168	11,474	121.2	1,362,434	11,490	118.6
	江東区	310,428	4,016	77.3	308,123	3,999	77.1
首都圏の中核市	川口市	1,166,378	6,195	188.3	1,161,487	6,197	187.4
	川越市	1,589,940	10,913	145.7	1,571,815	10,916	144.0
	越谷市	1,238,026	6,024	205.5	1,219,121	6,031	202.1
	八王子市	1,269,921	18,638	68.1	1,302,406	18,631	69.9
	横須賀市	1,176,502	10,083	116.7	1,167,512	10,071	115.9

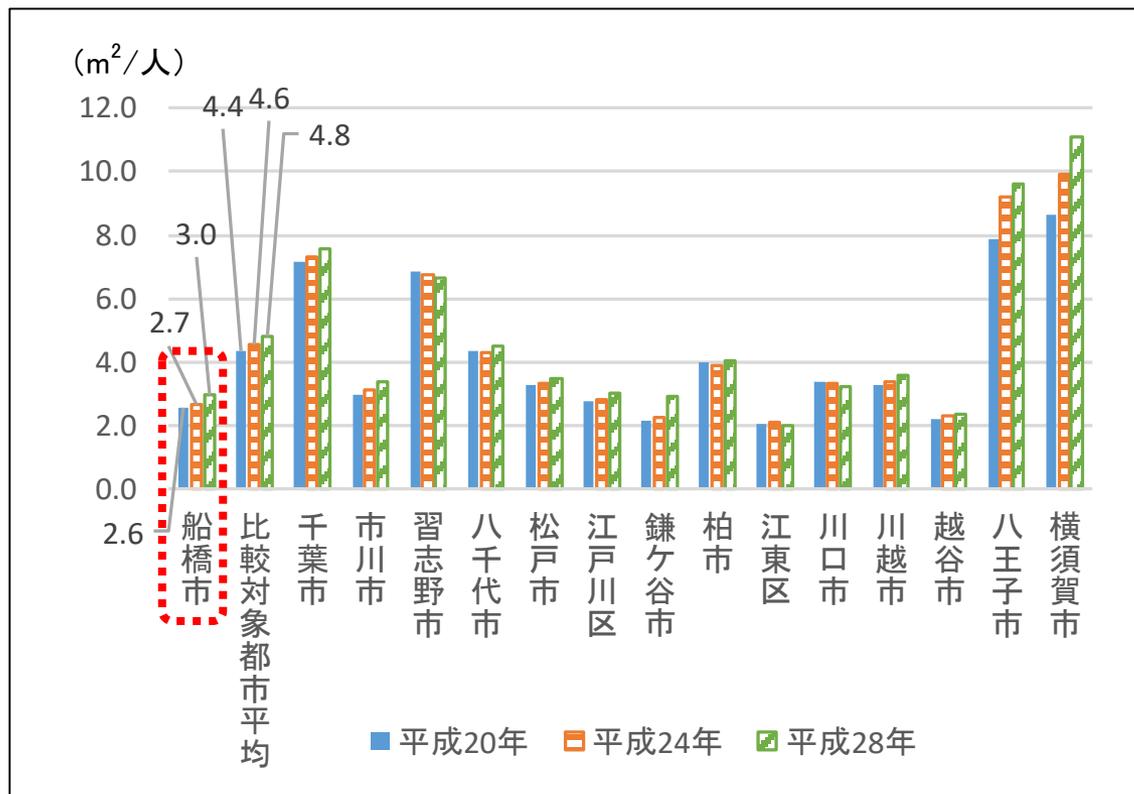
## ＜基準道路長密度(2/2)＞

		平成20年			基準道路長密度(m/ha)		
		実延長(m)	都市面積(ha)	基準道路長密度(m/ha)	20/28年比(%)	20/24年比(%)	24/28年比(%)
船橋市		1,093,001	8,564	127.6	103.8	101.9	101.9
比較対象都市平均		1,045,128	8,579	121.8	103.3	102.4	100.8
平成29年度 転出上位自治体	千葉市	3,089,975	27,208	113.6	103.5	102.2	101.3
	市川市	727,203	5,749	126.5	100.2	100.2	99.9
	習志野市	280,488	2,099	133.6	102.4	99.3	103.1
	八千代市	516,855	5,127	100.8	105.8	103.9	101.9
	松戸市	1,080,516	6,133	176.2	103.2	102.0	101.2
	江戸川区	922,359	4,976	185.4	100.8	100.6	100.2
	鎌ヶ谷市	226,930	2,111	107.5	105.8	103.4	102.2
	柏市	1,341,226	11,490	116.7	103.8	101.6	102.2
首都圏の中核市	江東区	307,910	3,994	77.1	100.3	99.9	100.3
	川口市	1,016,544	5,575	182.3	103.3	102.8	100.5
	川越市	1,540,103	10,916	141.1	103.3	102.1	101.2
	越谷市	1,211,096	6,031	200.8	102.3	100.7	101.7
	八王子市	1,222,402	18,631	65.6	103.9	106.5	97.5
	横須賀市	1,148,183	10,068	114.0	102.3	101.7	100.7

### ③-2 都市公園

- ◆ 平成28年の市民一人当たりの都市公園面積は3.0㎡で、比較対象都市平均の4.8㎡を下回り、15都市中4番目に低い水準となっています。

<市民一人当たりの都市公園面積>



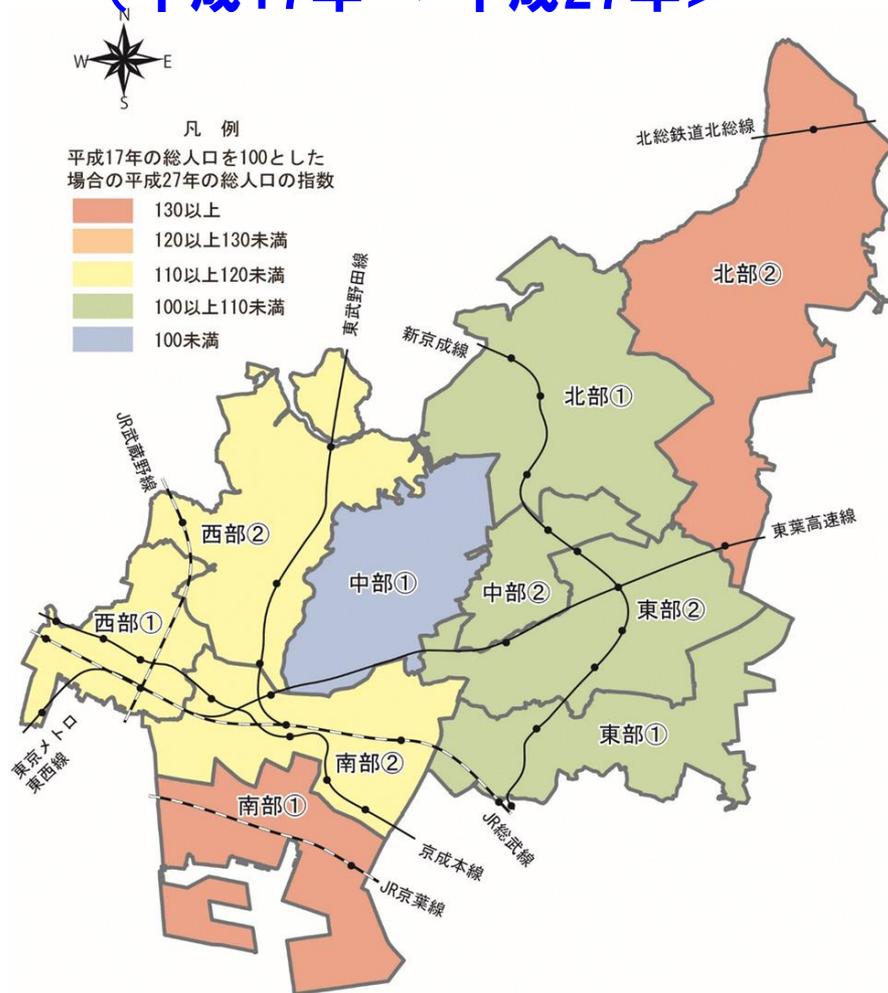
### 3) 地区別の現状分析

#### ①人口

##### ①-1 地区別の人口増減

- ◆ 人口総数の推移を平成17年から平成27年の変化率で見ると、南部①地区が最も高く、次いで北部②地区、西部②地区となっています。一方で、中部①地区では人口が減少しています。

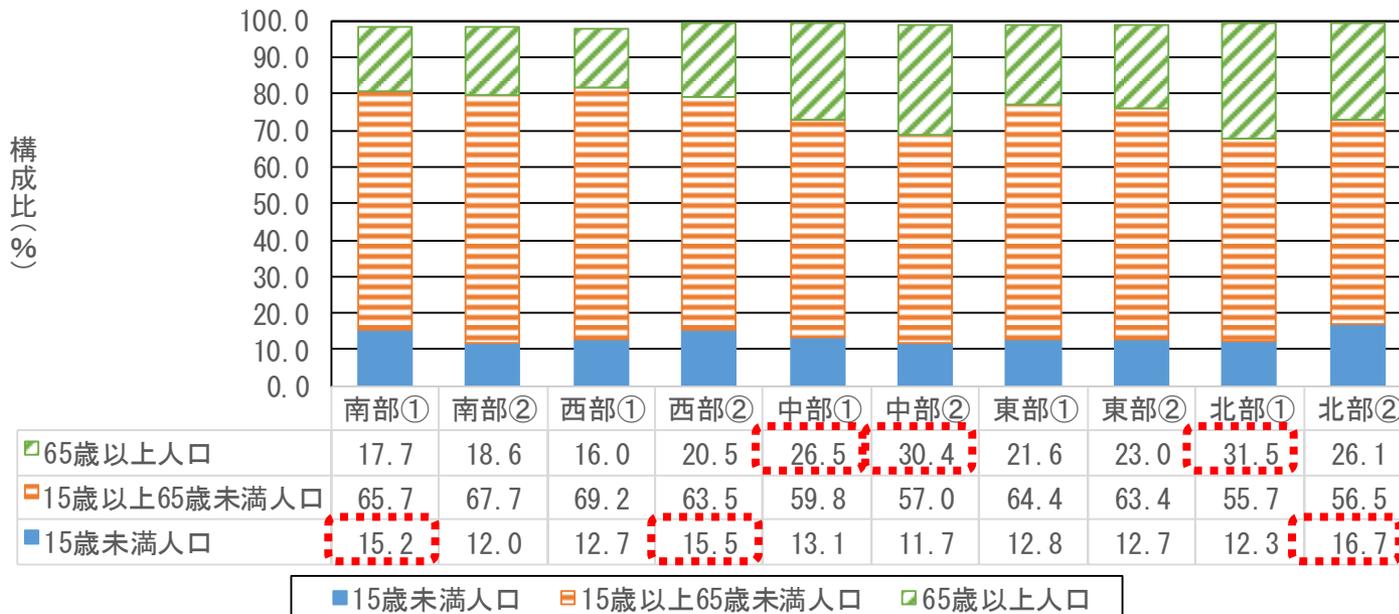
＜地区別の総人口マップ  
(平成17年 → 平成27年)＞



## ①-2 地区別の人口増減

- ◆ 平成27年における年齢階級別人口の構成をみると、15歳未満人口の構成比は北部②地区が最も高く、次いで西部②地区、南部①地区となっています。
- ◆ また、65歳以上人口の構成比をみると、北部①地区が最も高く、次いで中部②地区、中部①となっています。

<年齢階級別(3区分)人口の構成(平成27年)>





### ③産業

- ◆ 事業所数の推移を平成21年から平成26年の変化率で見ると、**西部②地区が最も高く**、次いで北部②地区で増加していますが、他の地区では減少傾向となっています。
- ◆ 従業者数の推移をみると、**東部①地区と東部②地区を除いて増加しており**、**中部②地区が最も高く**、次いで西部②地区となっています。

#### <事業所数・従業員数の推移(平成21年 → 平成26年)>

	事業所数			従業者数		
	平成21年 (事業所)	平成26年 (事業所)	変化率 (H21→26)	平成21年 (人)	平成26年 (人)	変化率 (H21→26)
船橋市	16,976	16,541	97.4	197,236	204,210	103.5
南部①	1,878	1,820	96.9	40,942	43,180	105.5
南部②	3,790	3,733	98.5	45,173	45,513	100.8
西部①	1,888	1,882	99.7	21,068	21,921	104.0
西部②	1,331	1,390	104.4	12,627	14,607	115.7
中部①	930	889	95.6	8,780	8,819	100.4
中部②	901	836	92.8	6,304	8,044	127.6
東部①	1,814	1,746	96.3	19,082	17,982	94.2
東部②	1,935	1,831	94.6	21,151	20,424	96.6
北部①	1,936	1,837	94.9	12,981	13,940	107.4
北部②	573	577	100.7	9,128	9,780	107.1

## ④交通環境

- ◆ 平成28年度の一日あたりの乗降客数をみると、東京メトロの西船橋駅が最も多くなっており、次いでJR船橋駅、JR西船橋駅、津田沼駅となっています。

### <船橋市内の駅の1日あたりの平均乗降客数(平成24年 → 平成28年)>

単位：人

地区名	駅名	平成24年度	平成28年度	変化率 (H24-28) (%)	地区名	駅名	平成24年度	平成28年度	変化率 (H24-28) (%)
南部①	南船橋	19,260	21,494	111.6	西部②	新船橋	4,987	6,669	133.7
	海神	2,327	2,598	111.6		塚田	7,052	7,753	109.9
	大神宮下	2,022	2,354	116.4		船橋法典	17,367	18,541	106.8
	東海神	3,131	3,950	126.2		馬込沢	13,295	13,387	100.7
南部②	東船橋	18,869	19,444	103.0	中部②	高根公園	7,112	7,774	109.3
	船橋(JR)	134,366	138,004	102.7	東部①	前原	3,837	4,473	116.6
	船橋(東武鉄道)	55,256	56,878	102.9		津田沼	101,771	103,702	101.9
	京成船橋	46,002	46,970	102.1		東部②	北習志野(新京成電鉄)	21,608	22,358
	船橋競馬場	9,339	10,170	108.9	北習志野(東葉高速鉄道)		18,544	19,842	107.0
西部①	京成中山	1,801	1,899	105.4	高根木戸		4,009	4,187	104.4
	京成西船	4,563	5,143	112.7	習志野		6,518	6,707	102.9
	下総中山	22,710	23,398	103.0	飯山満		8,123	9,299	114.5
	西船橋(JR)	126,834	136,067	107.3	薬園台	7,277	7,501	103.1	
	西船橋(東京メトロ)	136,190	143,909	105.7	北部①	滝不動	3,774	3,912	103.7
西船橋(東葉高速鉄道)	52,574	57,689	109.7	二和向台		9,210	8,954	97.2	
原木中山	11,923	13,171	110.5	三咲		6,399	6,788	106.1	
東部②	東中山	3,469	3,402	98.1	北部②	小室	1,972	1,865	94.6
						船橋日大前	7,910	9,742	123.2



## **2 将来人口推計**

**(1) 推計方法**

**(2) 市全体の推計結果**

**(3) 地区別の推計結果**

# (1) 推計方法

## 1) 推計方法: 修正コーホート要因法

- ◆ ある期間において、コーホート(同じ年(又は同じ期間)に生まれた人々の集団)が、期間の始めと終わりで集団規模が変化する要因を、自然動態(出生・死亡による増減)と社会動態(転入・転出による増減)のそれぞれ要因別に分けて推計し、将来の人口を推計する方法

## 2) 推計対象期間

- ◆ 基準年を住民基本台帳の2018年4月1日時点に設定
- ◆ 対象期間は、2018年から5年ごと、2063年までの45年間

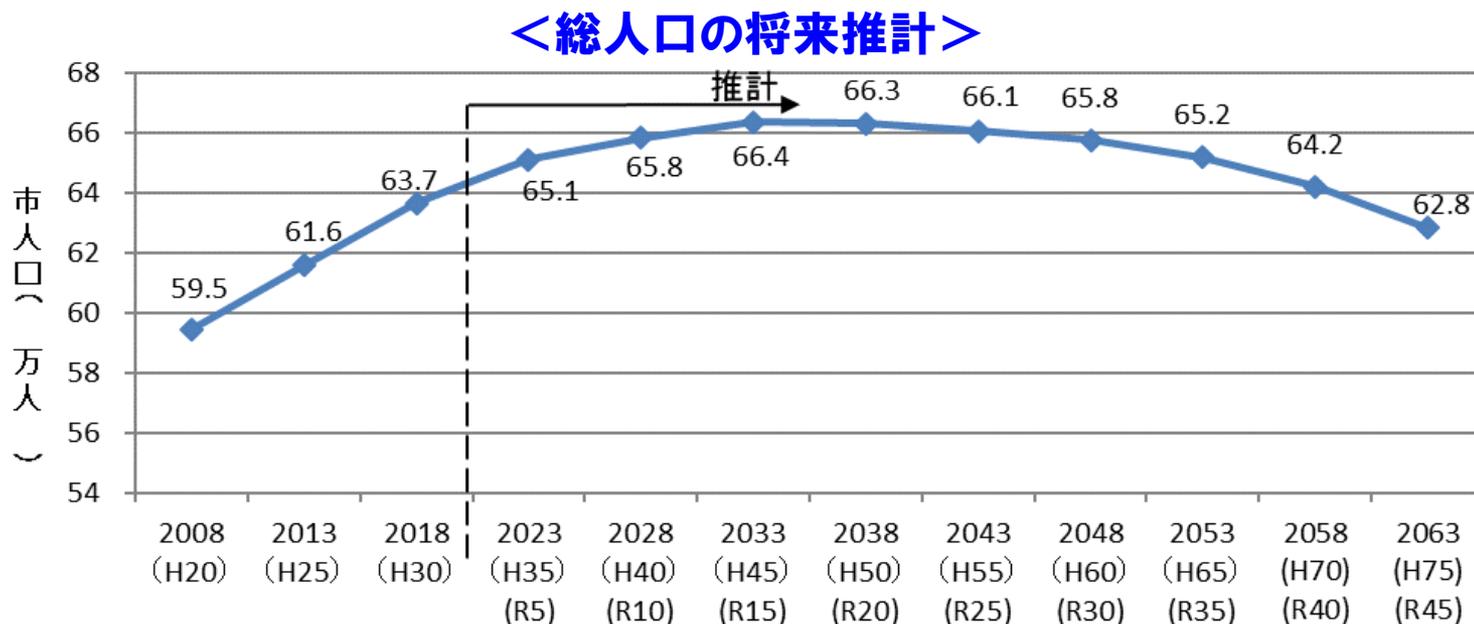
## 3) 推計対象

- ◆ 市全体及び24地区ごとの男女・5歳階級別人口

## (2) 市全体の推計結果

### 1) 総人口の将来推計

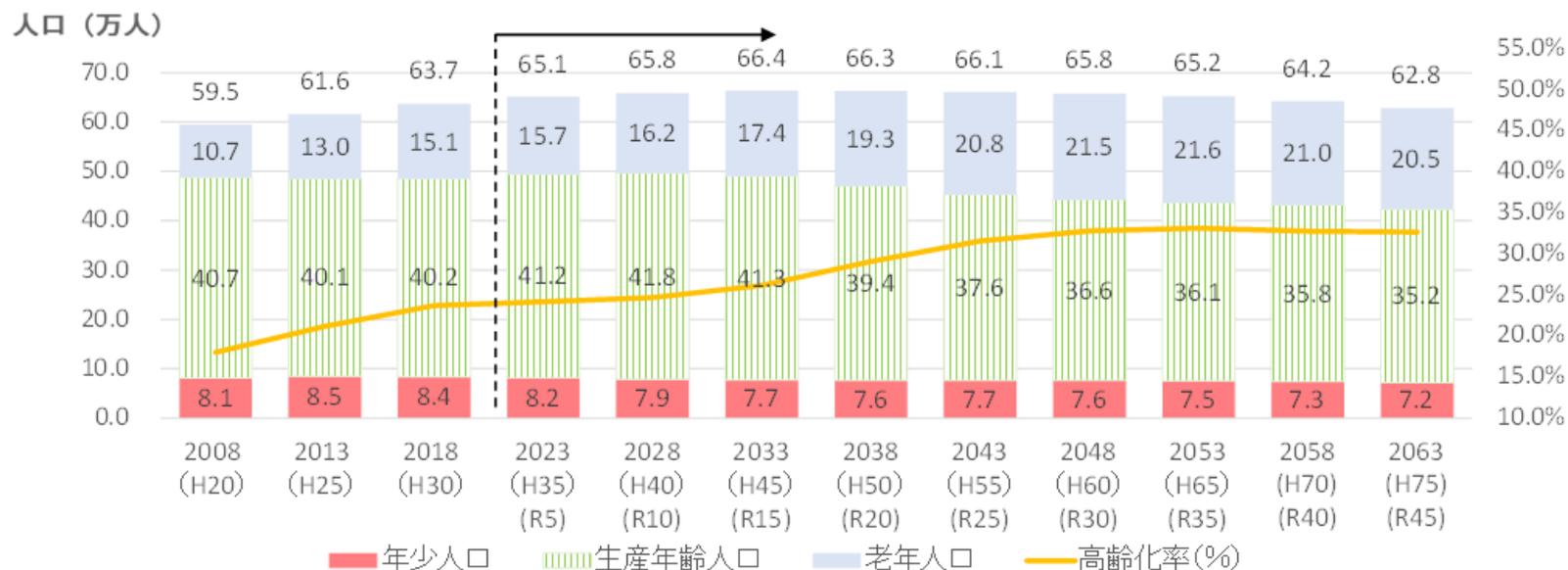
- ◆ 2018年4月1日時点の総人口は63.7万人であり、2033年をピークに減少へ転じるものの大幅に減少するリスクは少ない見込みです。
- ◆ 2016年3月発表の旧人口推計と比べるとピークとなる人口が増加し、ピーク時期も遅くなる見込みです。



## 2) 年齢3区分別の将来推計

- ◆ 生産年齢人口(15～64歳の人口)は、2028年まで緩やかに増加を続け、41.8万人をピークに以降は減少する見込みです。
- ◆ 年少人口(15歳未満の人口)は、2013年をピークに緩やかに減少する見込みです。
- ◆ 老年人口(65歳以上の人口)は2053年に21.6万人となるまで増加を続ける見込みです。

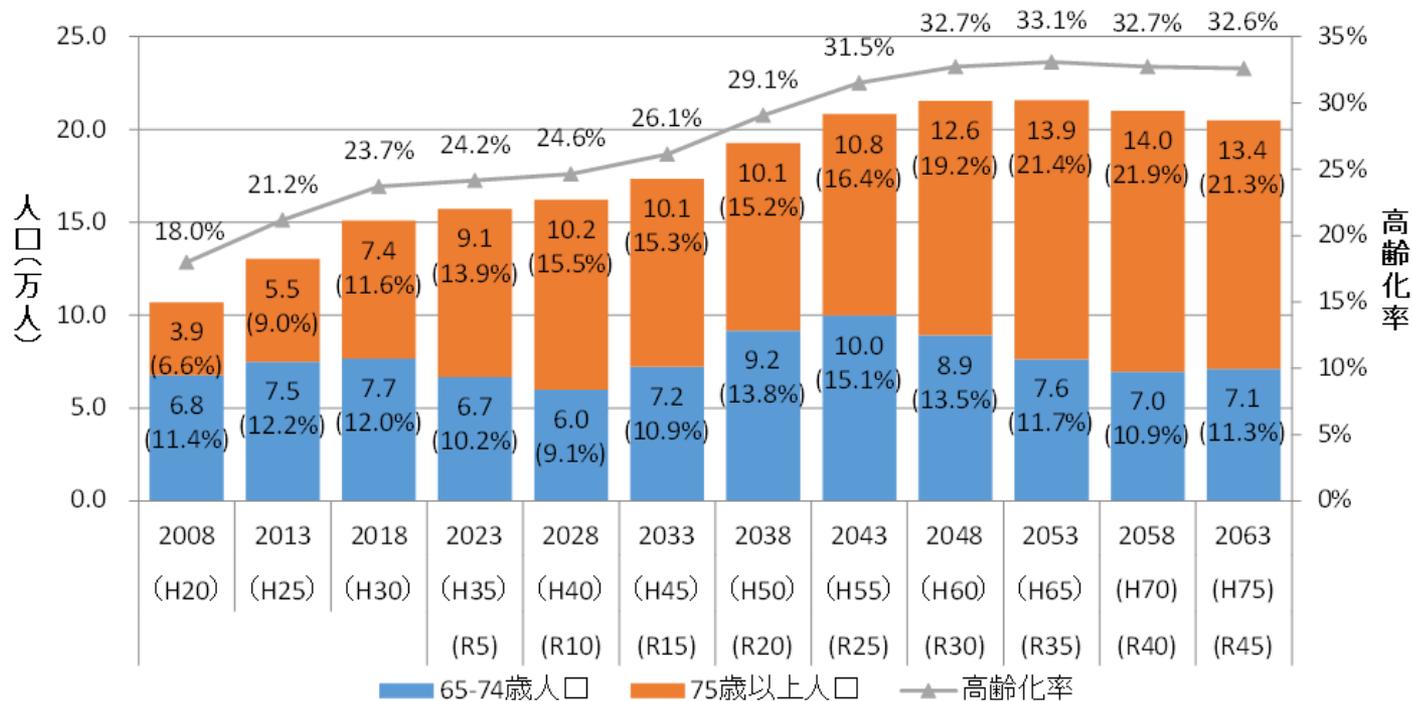
<年齢3区分別人口の将来推計>



### 3) 高齢者人口と高齢化率の将来推計

- ◆ 75歳以上の人口で見ると、2018年の7.4万人(構成比11.6%)から、団塊世代の高齢化を受け、2028年の10.2万人(同15.5%)まで急増する見込みです。その後やや減少し、2043年に再度増加に転じ、2058年には14.0万人(同21.9%)となる見込みです。

<高齢者人口と高齢化率の将来推計>

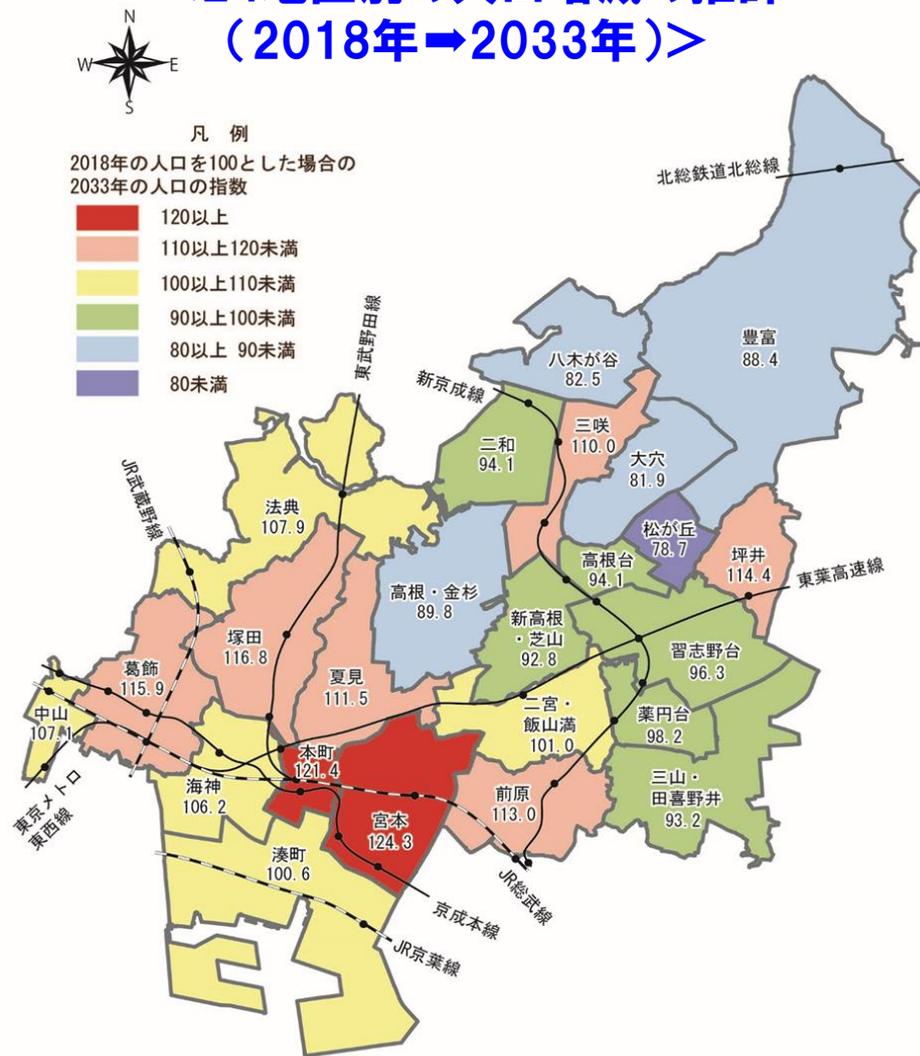


# (3) 地区別の推計結果

## 1) 地区別の人口増減

- ◆ 現在、人口が増加し若い世代が多い南部・西部地域と、人口が減少し高齢化が進む北部・東部・中部地域と、市内で人口動向の二極化が進んでいます。この傾向がさらに進む見込みです。

<24地区別の人口増減の推計 (2018年→2033年)>





# 3 調査・推計の結果を踏まえた 重要課題

## <調査・推計の結果を踏まえた重要課題>

- ◆ 今後、市全体の人口が大きく減少するリスクは少ないものの、15～64歳人口の減少により、財政の根幹をなす個人住民税の大幅な伸びが期待薄となる一方、支援が必要な高齢者が増大し、財政構造の硬直化や投資余力の低下が深刻さを増す恐れがあります。
- ◆ 過去から現在のトレンドの延長線上で推移すると仮定した場合、市北部・東部・中部では、将来的に人口が減少し、地域住民の高齢化が進むと予測され、その結果、住宅・土地の需要の低下や消費市場の縮小等に伴う地域住民の日常生活に密着した商業・サービス業の衰退や、地域コミュニティの弱体化などの問題の発生につながる恐れがあります。

### **3 市民意識等の把握**

- (1) 市民アンケート調査**
- (2) 中学生アンケート調査**
- (3) 24地区市民会議**
- (4) 市民会議inふなばし若手経済ミー  
ティング**
- (5) こども未来会議室 Season2**

# (1) 市民アンケート調査

## 1) 調査の概要

- ◆ 市内在住の満18歳以上の男女(外国人含む)6,000人を対象にアンケート調査を実施し、市民の意識・意向を把握しました。
- ◆ Web調査を郵送調査と並行して取り入れることで、有効回答率が向上しました(今回:42.4%、前回:31.9%)。

### <主な質問項目>

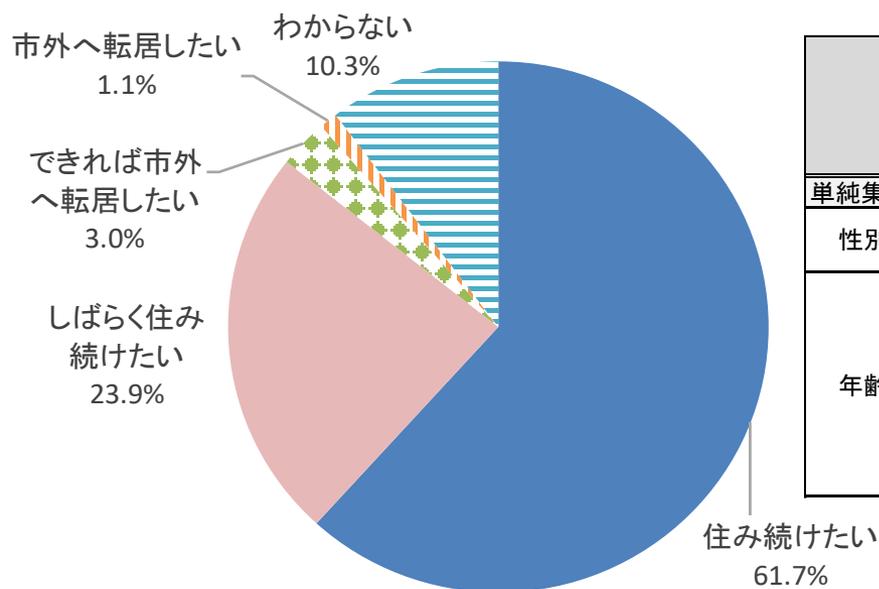
- ①居住意向
- ②まちのイメージ
- ③将来のまちのイメージ
- ④市の取組みに対する満足度・力を入れてほしい取組
- ⑤今後特に力を入れてほしい施策分野

## 2)結果の概要

### ①居住意向

- ◆ 85.6%の市民が船橋市に住み続けたい(「住み続けたい」+「しばらく住み続けたい」として)います。年齢が上がるにつれ、「住み続けたい」とする市民の割合が増加しています。

#### <居住意向>



単位: %

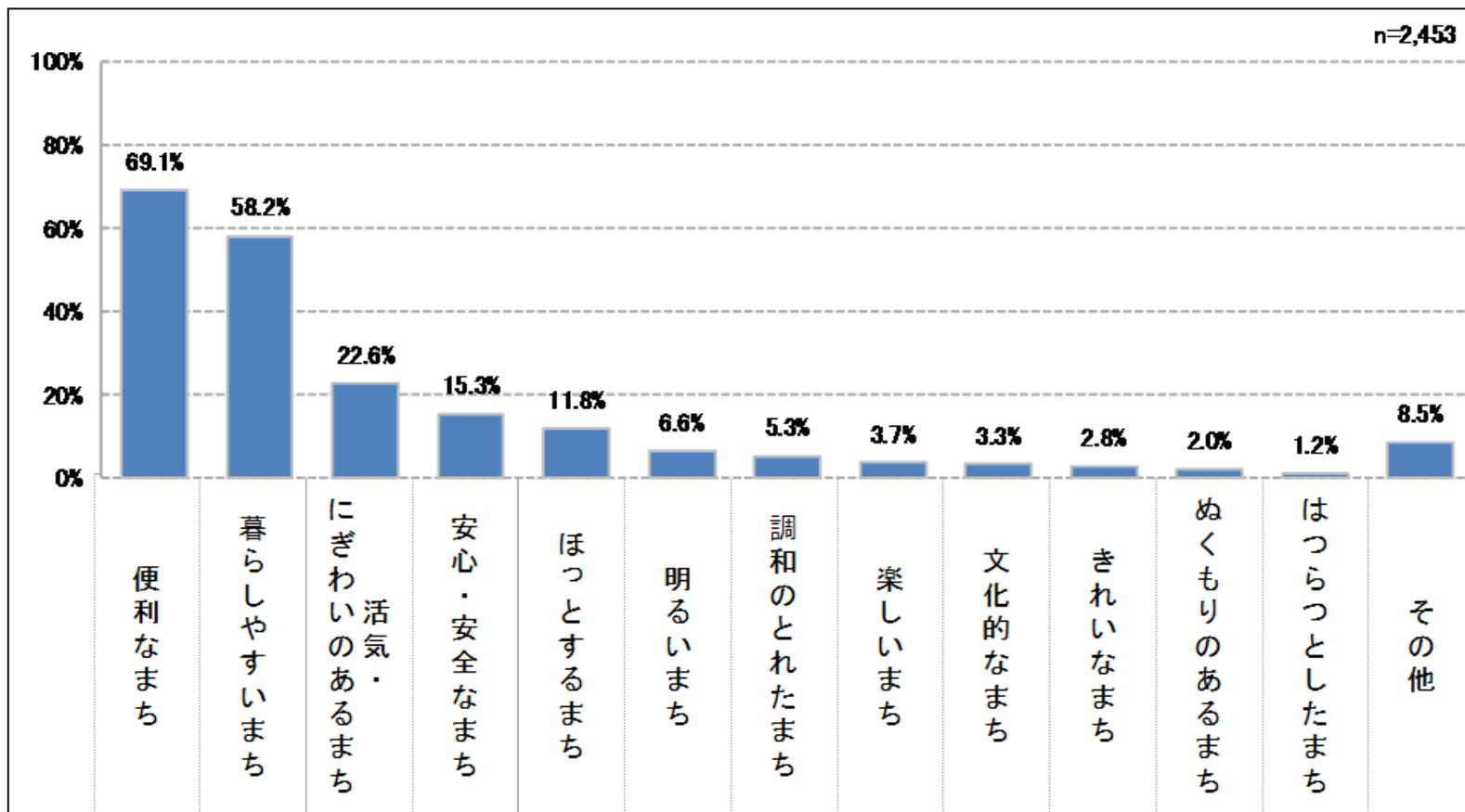
属性		回答総数 (n)	住み続けたい	しばらく住み続けたい	できれば市外へ転居したい	市外へ転居したい	わからない
単純集計結果		2,507	61.7	23.9	3.0	1.1	10.3
性別	男性	1,027	61.4	24.3	2.6	1.1	10.5
	女性	1,468	61.8	23.8	3.1	1.1	10.2
年齢	10歳代~20歳代	388	43.8	34.3	5.4	1.0	15.5
	30歳代	406	51.5	33.3	4.2	2.0	9.1
	40歳代	540	59.3	28.0	3.1	0.7	8.9
	50歳代	357	59.1	26.1	1.7	2.0	11.2
	60歳代	301	70.1	14.3	2.3	1.0	12.3
	70歳代	338	83.1	8.3	1.2	0.0	7.4
	80歳以上	165	82.4	9.7	1.2	0.6	6.1

n= 2,507

## ②まちのイメージ

- ◆ 船橋市のまちのイメージでは「便利なまち」が69.1%と最も多く、次いで「暮らしやすいまち」(58.2%)が多くなっています。

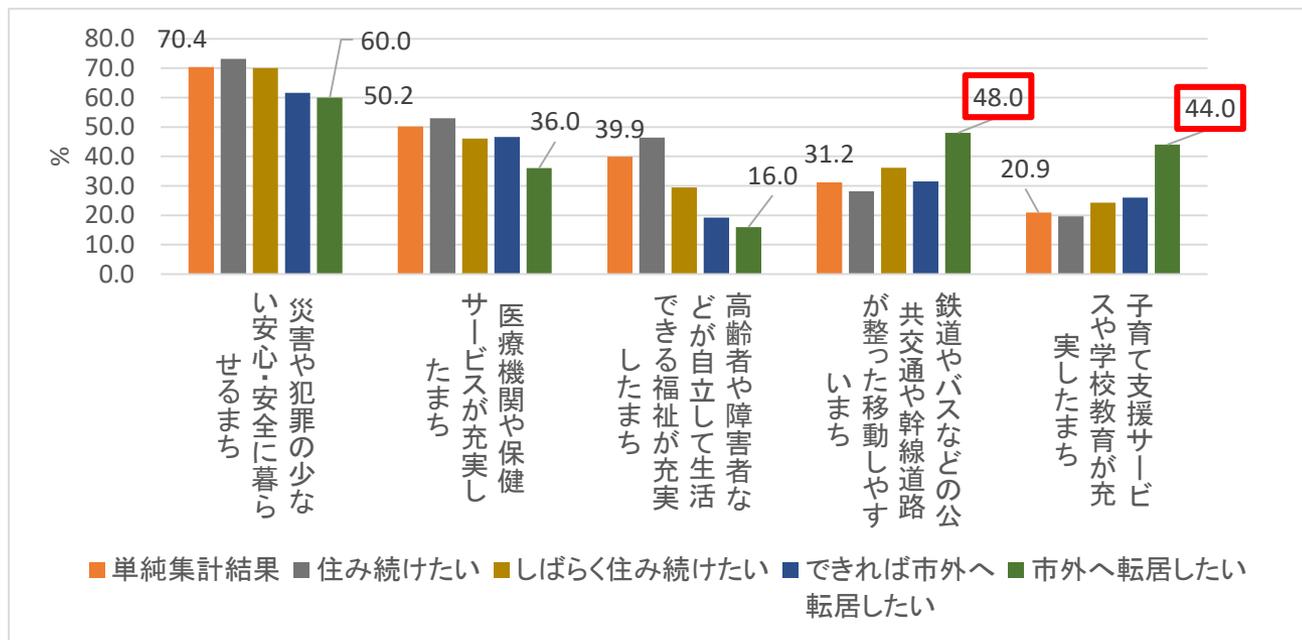
### <まちのイメージ>



### ③ 将来こうなってほしいと希望するまちの姿

- ◆ 単純集計では「災害や犯罪の少ない安心・安全に暮らせるまち」が70.4%で最も多く、次いで「医療機関や保健サービスが充実したまち」が50.2%、「高齢者や障害者などが自立して生活できる福祉が充実したまち」が39.9%と続いています。

＜将来こうなってほしいと希望するまちの姿＞



「市外へ転居したい」と思っている市民では、「鉄道やバスなどの公共交通や幹線道路が整った移動しやすいまち」が48.0%で2番目、「子育て支援サービスや学校教育が充実したまち」が44.0%で3番目に高い点が単純集計と異なる結果となっている。

## ④ 今後特に力を入れてほしい施策分野

- ◆ 単純集計では、「防災・減災」が48.5%と最も多く、次いで「道路の整備・維持」が46.3%、「防犯」が41.0%と続いています。

「市外へ転居したい」と思っている市民では、「医療」、「子育て支援」がともに37.0%と2番目に高い点が、単純集計と異なる結果となっている。

### <今後特に力を入れてほしい施策分野>

単位：%

属性		回答総数 (n)	防災・ 減災	道路の 整備・ 維持	防犯	医療	高齢者 福祉	子育て 支援
単純集計結果		2,503	<b>48.5</b>	46.3	41.0	39.5	28.1	22.7
年齢	10歳代～20歳代	382	41.9	<b>44.5</b>	35.9	35.9	12.0	28.8
	30歳代	407	43.7	<b>52.8</b>	45.0	39.1	10.8	<b>47.9</b>
	40歳代	539	<b>53.2</b>	51.4	45.1	40.1	20.0	24.7
	50歳代	357	<b>54.1</b>	<b>53.2</b>	42.3	39.5	35.6	12.3
	60歳代	296	<b>54.4</b>	<b>43.2</b>	35.5	40.9	37.5	11.5
	70歳代	333	45.3	37.8	37.5	42.0	<b>48.9</b>	10.5
	80歳以上	159	42.8	28.9	41.5	41.5	<b>59.1</b>	6.9
	居住地 域	南部①	120	<b>50.0</b>	43.3	40.0	<b>46.7</b>	25.8
南部②		332	<b>52.1</b>	<b>48.2</b>	44.0	38.6	28.0	24.7
西部①		245	<b>50.6</b>	<b>41.6</b>	36.3	35.5	21.2	24.1
西部②		380	44.5	<b>53.2</b>	40.5	39.7	26.8	22.6
中部①		155	49.0	<b>51.0</b>	27.7	38.7	29.7	21.3
中部②		164	<b>46.3</b>	38.4	<b>43.9</b>	40.9	32.9	23.8
東部①		330	46.7	<b>52.4</b>	39.7	40.3	27.0	24.2
東部②		341	<b>54.8</b>	44.0	<b>44.9</b>	37.8	28.4	21.4
北部①		307	44.0	<b>45.9</b>	43.0	39.7	35.2	19.9
北部②		90	<b>46.7</b>	28.9	<b>43.3</b>	<b>43.3</b>	22.2	24.4
居住意 向	住み続けたい	1,523	<b>49.7</b>	<b>43.3</b>	41.7	41.3	33.0	22.2
	しばらく住み続けたい	594	51.2	<b>54.2</b>	41.2	37.0	20.0	26.8
	できれば市外へ 転居したい	74	33.8	<b>54.1</b>	28.4	31.1	16.2	20.3
	市外へ転居したい	27	37.0	<b>51.9</b>	29.6	<b>37.0</b>	18.5	<b>37.0</b>
	わからない	252	41.7	<b>44.4</b>	42.9	38.1	22.2	15.9

## ⑤市の取組みに対する満足度-1

- ◆ 船橋市の取組みに対する満足度（「満足」+「やや満足」）は、「**地域医療**」が31.1%と最も高く、次いで「**農業・漁業の振興**」が25.5%、「**健康づくり**」が25.1%、「**自然環境保全**」と「**住まい**」が24.3%と続いています。

### <市の取組みに対する満足度>

単位：%

属性	回答総数 (n)	満足している	ふつう	不満と 感じている	わからない
地域医療	2,508	31.1	49.7	12.8	6.4
農業・漁業の振興	2,448	25.5	50.3	5.2	19.0
健康づくり	2,458	25.1	58.8	6.0	10.1
自然環境保全	2,488	24.3	52.5	7.8	15.4
住まい	2,474	24.3	50.9	10.1	14.7
商業・工業の振興	2,464	19.8	52.4	7.6	20.1
防犯	2,488	17.6	54.4	18.4	9.6
スポーツ・レクリエーションの振興	2,449	16.7	51.7	9.8	21.8
防災・減災	2,481	16.4	55.0	12.7	15.9
生涯学習	2,459	15.9	51.9	11.2	21.0
子育て支援	2,450	15.0	42.1	11.1	31.6
環境への負荷軽減	2,456	14.8	57.7	11.5	16.1
学校教育	2,434	14.4	44.0	10.9	30.8
地域福祉	2,469	13.7	55.4	6.8	24.1
文化・芸術の振興	2,470	13.4	53.3	7.5	25.7
都市基盤整備	2,449	12.8	41.3	37.1	8.9
高齢者福祉	2,467	12.1	48.9	8.9	30.0
障害福祉	2,472	9.0	48.4	8.1	34.4

## ⑥市の取組みに対する満足度-2

- ◆ 船橋市の取組みに対する不満度（「やや不満」+「不満」）は、「**都市基盤整備**」が37.1%と最も高く、次いで「防犯」が18.4%、「地域医療」が12.8%、「防災・減災」が12.7%、「環境への負荷軽減」が11.5%と続いています。

### <市の取組みに対する不満度>

単位：%

属性	回答総数 (n)	満足している	ふつう	不満と 感じている	わからない
都市基盤整備	2,449	12.8	41.3	37.1	8.9
防犯	2,488	17.6	54.4	18.4	9.6
地域医療	2,508	31.1	49.7	12.8	6.4
防災・減災	2,481	16.4	55.0	12.7	15.9
環境への負荷軽減	2,456	14.8	57.7	11.5	16.1
生涯学習	2,459	15.9	51.9	11.2	21.0
子育て支援	2,450	15.0	42.1	11.1	31.6
学校教育	2,434	14.4	44.0	10.9	30.8
住まい	2,474	24.3	50.9	10.1	14.7
スポーツ・レクリエーションの振興	2,449	16.7	51.7	9.8	21.8
高齢者福祉	2,467	12.1	48.9	8.9	30.0
障害福祉	2,472	9.0	48.4	8.1	34.4
自然環境保全	2,488	24.3	52.5	7.8	15.4
商業・工業の振興	2,464	19.8	52.4	7.6	20.1
文化・芸術の振興	2,470	13.4	53.3	7.5	25.7
地域福祉	2,469	13.7	55.4	6.8	24.1
健康づくり	2,458	25.1	58.8	6.0	10.1
農業・漁業の振興	2,448	25.5	50.3	5.2	19.0

## ⑦「都市基盤整備」:今後特に力を入れてほしい取組み

- ◆「都市基盤整備」について今後特に力を入れてほしい取組みは次のとおりです。
  - ◆ 安全に歩ける歩行空間の整備・維持
  - ◆ 道路や交差点の整備・改良による渋滞緩和
  - ◆ 自転車専用レーン設置など、自転車走行空間の整備・維持

### <都市基盤整備>

単位:%

属性		回答総数 (n)	安全に歩ける歩行空間の整備・維持	道路や交差点の整備・改良による渋滞緩和	自転車専用レーン設置など、自転車走行空間の整備・維持
単純集計結果		2,449	<u>54.1</u>	<u>39.9</u>	32.2
満足度	満足している	304	<u>50.0</u>	31.6	<u>31.9</u>
	ふつう	999	<u>54.1</u>	<u>35.0</u>	33.2
	不満に感じている	903	<u>55.3</u>	<u>50.7</u>	32.2
	わからない	181	<u>56.9</u>	<u>32.0</u>	28.7

## ⑧「防犯」:今後特に力を入れてほしい取組み

- ◆「防犯」について今後特に力を入れてほしい取組みは、次のとおりです。
  - ◆ 防犯灯の設置の促進
  - ◆ 防犯情報や不審者情報などの提供
  - ◆ 市民安全パトロール

### <防犯>

単位:%

属性		回答総数 (n)	市民安全 パトロー ル	防犯情報 や不審者 情報など の提供	防犯灯の 設置の促 進
単純集計結果		2,449	29.4	48.6	53.6
満足度	満足している	421	29.2	48.5	48.9
	ふつう	1,322	29.7	49.8	52.2
	不満に感じている	458	31.2	43.4	59.0
	わからない	209	25.4	52.6	60.3

## ⑨「地域医療」:今後特に力を入れてほしい取組み

- ◆「地域医療」について今後特に力を入れてほしい取組みは、次のとおりです。
  - ◆ 救急医療体制の充実
  - ◆ 市立医療センターの機能の充実
  - ◆ 在宅医療体制の充実
  - ◆ 医療相談体制の充実

### <地域医療>

単位:%

属性		回答総数 (n)	在宅医療 体制の充 実	救急医療 体制の充 実	医療相談 体制の充 実	市立医療 センター の機能の 充実
単純集計結果		2,393	29.0	<u>47.6</u>	28.3	<u>35.9</u>
満足度	満足している	742	29.2	<u>49.7</u>	24.7	<u>37.9</u>
	ふつう	1,186	30.9	<u>46.0</u>	30.3	<u>33.9</u>
	不満に感じている	319	22.3	<u>50.8</u>	27.6	<u>41.4</u>
	わからない	130	26.9	<u>43.8</u>	<u>31.5</u>	30.0

## ⑩「防災・減災」:今後特に力を入れてほしい取組み

- ◆「防災・減災」について今後特に力を入れてほしい取組みは、次のとおりです。
  - ◆ 災害時における迅速な情報伝達体制の整備
  - ◆ 避難所などにおける防災備蓄や防災機能の充実
  - ◆ 災害時における医療体制の整備

### <防災・減災>

単位:%

属性	回答総数 (n)	避難所などにおける防災備蓄や防災機能の充実	災害時における迅速な情報伝達体制の整備	災害時における医療体制の整備	高齢者や障害者など避難の際に支援を必要とする人への対策	集中豪雨や大雨時における水害対策	
単純集計結果	2,434	39.3	41.7	21.0	17.5	16.9	
年齢	全体(SA)	2,406	39.3	41.9	20.7	17.4	17.0
	10歳代~20歳代	367	41.4	31.6	16.3	8.2	20.7
	30歳代	396	43.7	39.6	19.4	9.6	21.5
	40歳代	524	45.2	40.1	20.0	10.5	21.0
	50歳代	349	39.5	51.0	18.3	14.3	16.6
	60歳代	289	34.3	45.7	24.2	27.7	12.8
	70歳代	329	30.4	46.5	26.1	30.7	10.6
	80歳以上	152	30.3	40.8	24.3	42.1	5.3
満足度	満足している	395	37.0	35.9	21.5	19.5	18.5
	ふつう	1,326	40.1	42.6	21.8	17.6	16.1
	不満に感じている	311	34.4	46.3	16.4	18.3	19.0
	わからない	354	44.4	39.8	22.3	13.6	16.9

属性によっては、「**高齢者や障害者など避難の際に必要な対策**」や「**集中豪雨や大雨時における水害対策**」も上に入っている

### 3)調査結果を踏まえた重要課題

- ◆「将来こうなってほしいと希望するまち姿」や「今後特に力を入れてほしい施策分野」、「市の取組に対する満足度」等の設問の結果から、市民が充実してほしいと望む施策分野の傾向としては道路の整備・維持のほかに、災害・犯罪対策、医療、子育て支援等であることが伺えます。
- ◆これらを踏まえ、今後重点的、優先的に取り組む施策を検討する必要があります。

## (2) 中学生アンケート調査

### 1) 調査の概要

- ◆ 市内の中学校に通学する中学2年生1,193人(有効回答率87.2%)を対象にアンケート調査を実施し、次代の船橋市を担う子どもたちの意識・意向を把握しました。

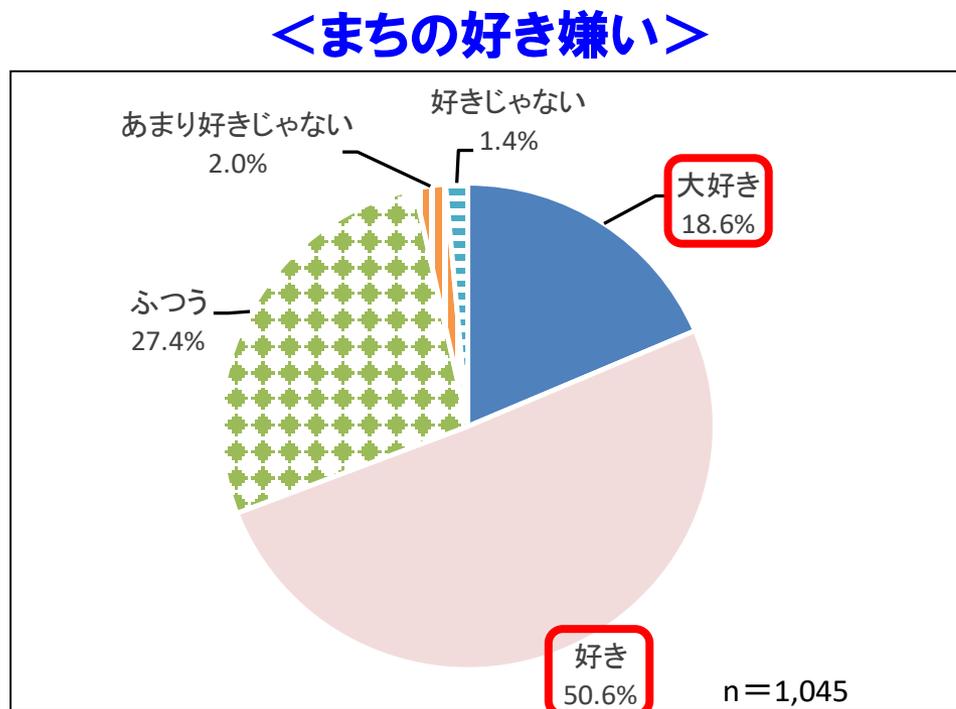
#### <質問項目>

- ①まちの好き嫌い(選択式)とその理由(自由記述式)
- ②大人になってからの定住意向(選択式)
- ③今の船橋市の「まちのイメージ」(同上)
- ④10～20年後に「なってほしいまちの姿」(同上)
- ⑤まちの自慢や未来のまちをより良くする提案・アイデア

## 2)調査の結果

### ①まちの好き嫌いとその理由

- ◆「大好き(18.6%)」と「好き(50.6%)」を合わせた「好き」が69.2%と約7割を占めており、「あまり好きじゃない(2.0%)」と「好きじゃない(1.4%)」を合わせた「好きじゃない」の3.4%を大きく上回っています。



## ①まちの好き嫌いとその理由

### <大好きな理由>

- ◆ 全般的に「大規模なショッピングセンターの充実など、買物の利便性の良さ」や「都心部への交通利便性の良さ」など、暮らしの便利さを挙げる回答が目立つ傾向にあります。

### <好きな理由>

- ◆ 大好きな理由と同様に、暮らしの便利さを挙げる回答が目立つ傾向にあるほか、「治安の良さ」や「自然の豊かさ」を挙げる回答も比較的に目立ちます。

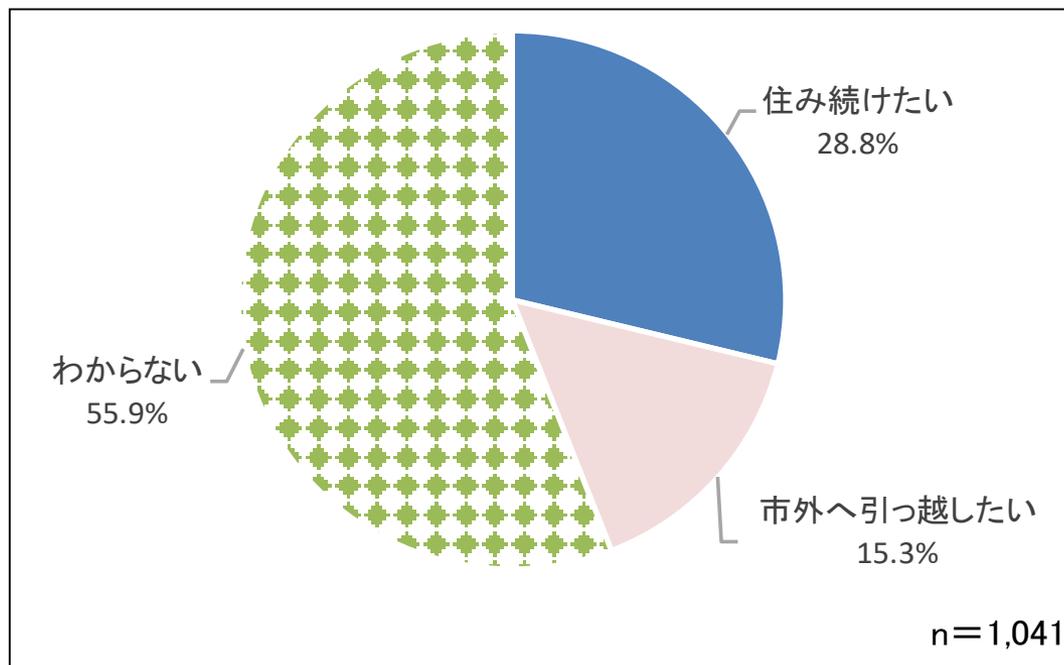
### <好きじゃない理由>

- ◆ 「あまり好きじゃない」と「好きじゃない」を合わせた「好きじゃない」理由は、具体的な内容にばらつきが目立つ傾向にあります。

## ②大人になってからの定住意向

- ◆ 「住み続けたい」が**28.8%**であり、「市外へ引っ越したい」の15.3%の約2倍に上っているほか、「わからない」が55.9%で約半数を占めています。

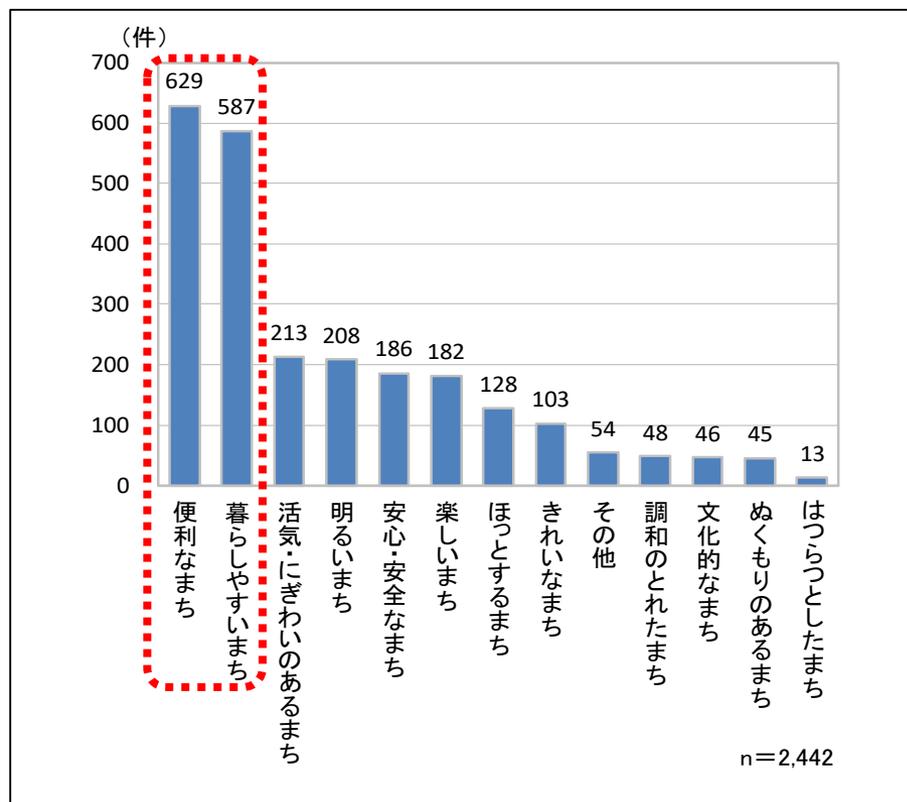
### <大人になってからの定住意向>



### ③今の船橋市の「まちのイメージ」

- ◆ 回答が突出して多かったのは、「便利なまち」の629件であり、「暮らしやすいまち」が587件でこれに次いでいます。

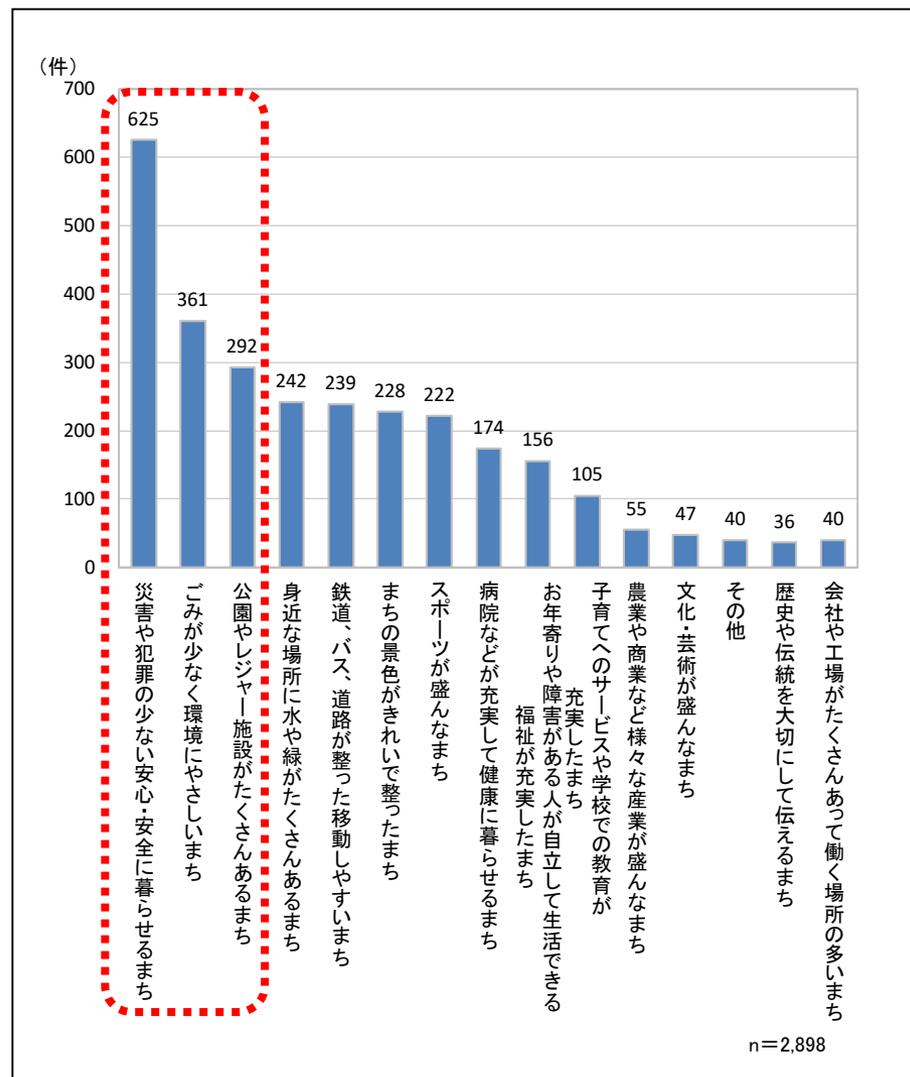
#### <今の船橋市の「まちのイメージ」>



## ④ 10～20年後に「なっしてほしいまちの姿」

- ◆ **「災害や犯罪の少ない安心・安全に暮らせるまち(625件)」が突出**しており、次いで「ごみが少なく環境にやさしいまち(361件)」、「公園やレジャー施設がたくさんあるまち(292件)」の順となっています。

### <10～20年後に「なっしてほしいまちの姿」>



## ⑤まちの自慢や未来のまちをより良くする提案・アイデア

### <まちの自慢>

- ◆ 「鉄道交通の利便性の高さ」や「東京都心部への近接性」、「ショッピングモールなどの商業施設の充実」を挙げる意見が非常に目立つほか、「梨に代表される果物の美味しさ」を挙げる意見も比較的目立つ傾向にあります。

### <未来のまちをより良くする提案・アイデア>

- ◆ 幅員の狭い道路・歩道の拡幅、街路灯・信号機の増設等による「道路交通の安全性の確保」を望む意見が非常に目立ちます。
- ◆ それ以外では、「ごみ対策の充実」や「ごみのポイ捨ての禁止」、ボール遊びやスポーツに親しめる「公園の整備・充実」を望む意見が目立つ傾向にあります。

# (3) 24地区市民会議

## 1) 会議の概要

### <会議の目的>

- ◆ これからも活力あるまちを継続していくため、まちをどのようにしていきたいかを市民同士が自由に話し合い、総合計画をはじめとする様々な計画に反映することを目的に開催

### <実施時期及び参加者数>

- ◆ 平成31年1月15日～2月10日、全24回
- ◆ 298人(男性:211人、女性:87人)

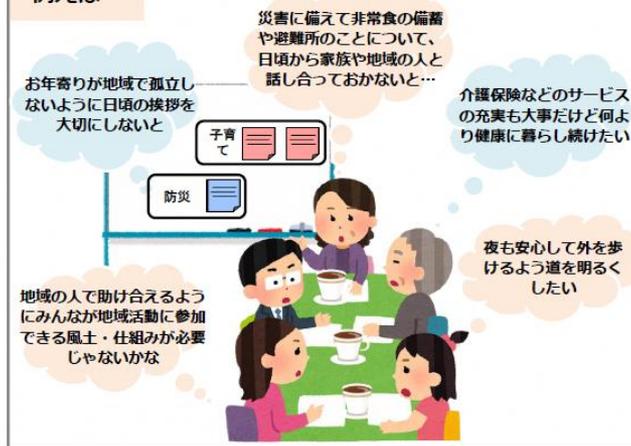


## 24 地区市民会議って何？

24 地区市民会議はワークショップ形式で行い、コーヒーやお茶を飲みながら、未来に向けた地域での取り組みについて皆さんで考え、お話しいただく場です。今後の地域のために 24 地区市民会議にご参加ください。

会議では 10 年後の未来を想像しながら・・・

例えば・・・

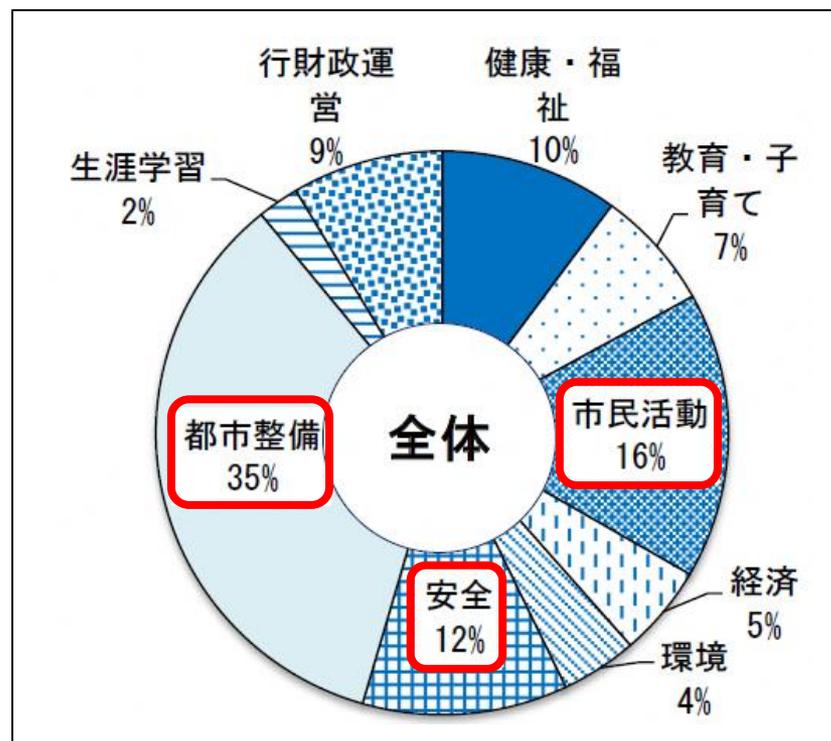


みなさんからいただいたご意見は、2021 年度からの新たな船橋市総合計画のほか、さまざまな計画や施策の参考とさせていただきます。

## 2)会議の結果（※分野別の意見分類）

- ◆ 意見（総数1,993件）の中で最も多かったのは、「**都市基盤**（道路・都市計画・市街地形成など）」であり、次いで「**市民活動**（市民協働・コミュニティなど）」、「**安全**（消防・防災・防犯）」の順となっています。

### <分野別の意見分類>



## <主な意見(例)>

### ①都市基盤

- ◆ 子どもや高齢者が安全に歩ける歩道の整備
- ◆ 交通渋滞の解消や道路の安全対策
- ◆ 今後の人口減少に備えたインフラの整備

### ②市民活動

- ◆ 若者と高齢者、高齢者同士など多世代間交流の促進
- ◆ 子どもから高齢者まで、お互いに助け合うまちづくり
- ◆ 町会・自治会の統合や若い世代の後継者を確保するための仕組みづくり

### ③安全

- ◆ 防犯訓練や防災備蓄の充実
- ◆ 市の役割、市民の役割の明確化
- ◆ 空き家の情報提供及び有効活用

# (4) 市民会議inふなばし若手経済ミーティング

## 1) 会議の概要

### < 会議の目的 >

- ◆ これからも活力あるまちを継続していくため、まちをどのようにしていきたいかを本市で活躍する各業種の若手に検討してもらい、総合計画をはじめとする様々な計画に反映することを目的に開催

### < 実施日時及び参加者数 >

- ◆ 平成31年3月20日(水)
- ◆ 49人

第11章 ふなばし若手経済ミーティング

# 市民会議

Citizens' Conference

in  
ふなばし若手経済ミーティング  
～船橋の未来のまちづくりを一緒に考えてみませんか～

### 市民会議とは

About Citizens' Conference

船橋市の総合計画「17が平成32（2020）年度で最終編了を迎える。平成33（2021）年度を最終年度とする新たな総合計画を策定します。この新たな計画の策定に向けて、船橋の未来のまちづくりをよりよくする取り組みやアイデア等を船橋市の若手経営者に検討してもらおうワークショップを開催します。みなさんからいただいた意見は、新たな総合計画だけでなく、さまざまな計画や施策の参考とさせていただきます。

【1】市民会議とは  
総合計画は、市の政策目標を示し、それを実施するための施策や事業を策定する。総合計画は、市民の意見を取り入れる仕組みです。

【2】ワークショップとは  
船橋市が、まちづくりという共通目標に向け、無償で研修を共有し、船橋市が実施するさまざまな取り組みの検討の場です。

第一部  
ふなばし若手経済ミーティングによる市民会議  
時間 午後7時～8時15分迄  
参加費 無料

今回のポイント  
若手経済ミーティング的「船橋有識者会議」  
業種毎に分かれて、専門家の目線で船橋について語ってください。

第二部  
時間 午後8時20分～9時40分迄  
参加費 3,000円 ※参加費は当日受付現金で申し込みに付いたします。

申込方法  
先着70名まで  
書類の申込書を3月14日（木）までに FAX または E-mail でお送りください。  
E-mail: 申込書は各名宛【第11章若手経済ミーティング参加申込】と記載をお願いします。  
FAX 047-436-2466 shokoshinko@city.funabashi.lg.jp

お問い合わせ 経済ミーティング実行委員会事務局 船橋市役所経済部第二課 電話 TEL 047-436-2472

管轄のお申込みをお待ちしています！  
申込書は裏面

## <主な意見(例)>

### ●伸ばしていきたい良い点

- ◆ 農水産物のブランド力
- ◆ 生活・交通利便性の高さ

### ●未来に向けて改善したほうが良い点

- ◆ 北部地域の活性化
- ◆ 第一次、二次産業の後継者不足

### ●未来の船橋にとってあったほうが良いものや取り組み

- ◆ 農業・漁業をもっと身近に感じられるスポット
- ◆ LRTなどの新交通
- ◆ スマホアプリなどを使った情報発信

# (5)こども未来会議室 Season2

## 1)会議の概要

### <会議の目的>

- ◆ こども未来会議室に平成26～28年度に参加した生徒たちを対象に、目指すべき将来のまちの姿(キャッチフレーズ)などを検討してもらい総合計画をはじめとする様々な計画に反映することを目的に開催

### <実施日及び参加者数>

- ◆ 平成31年3月28日(木)
- ◆ 23人(男性:6人、女性:17人)

**特別企画**  
**こども未来会議室 Season2**

**船橋の10年後の未来と一緒に考えてみませんか!!**

こども未来会議室 OB・OGの皆さんお元気ですか？  
市では現在、10年後の船橋の未来を描く計画を作っています。  
10年後は、皆さんが社会でバリバリと活躍しているころです。  
そのころの船橋市には、どんなまちになっていてほしいですか？  
ぜひ、皆さんの意見を聞かせてください。

開催日時：  
平成31年3月28日(木)13:30~15:30

対 象：平成26～28年度の「こども未来会議室」に参加された方  
定 員：おおむね40名 ※応募多数の場合は抽選  
場 所：船橋市役所 11階 大会議室

申込方法：  
(1) 右のQRコードを読み取り専用フォームにて下記事項を入力  
①名前(ふりがな)、②電話番号、③出身校、④保護者の見学希望の有無、  
⑤関心のあるテーマ  
ア、まちのPR・観光  
イ、まちのみ(道路、公園)  
ウ、自然・環境  
エ、防災・防災  
オ、子育て・教育  
カ、高齢者や障害者の支援  
キ、その他

(2) 下記メールアドレス宛てに送付  
(上記①～⑤の項目をご記載ください)

(3) 下記電話番号宛てに電話  
(上記①～⑤の項目をお伝えください)

申込期限：平成31年3月15日(金)  
その他：お申込みされた方全員へ、参加可否のご案内を  
平成31年3月20日(水)までにお送りします。

申込先：船橋市市長公室市民の声を聞く課  
TEL047-436-2784 Email:shiminnoke@city.funabashi.lg.jp

## <主な意見>

### ●Aグループ(防災・防犯):となりの顔が見えるまち

- ◆ 防災・防犯対策の強化
- ◆ SNS を活用した情報発信とコミュニケーションの充実
- ◆ 長所を活かした街を発展させる取り組み

### ●Bグループ(都市基盤):つながるまち

- ◆ 町と町がもっとつながる(自転車専用道路の整備)
- ◆ 市外と船橋がつながる(観光発展)
- ◆ 人と人がもっとつながる(地域の集いの場となる魅力的な公園・緑を増やす)

## <主な意見>

### ●Cグループ(子育て・教育):

すべてのかかわりを誇れるまち ふなばし

- ◆ 高齢者支援(公民館にネットで買い物可能なタッチパネル端末の設置など)
- ◆ 学生への支援(受験サポート(他学年交流)、未来会議室Season3)
- ◆ 自然と都市化の両立

### ●Dグループ(観光・PR)

思わず[船橋市]と検索したくなるまち

- ◆ Instagramなど若者向けのSNSの有効活用
- ◆ 船橋ならではのランドマークの建設